

資料編

1 市民アンケート・ヒアリング調査結果

文化芸術に関するアンケート調査

目次

I.	調査概要（一般、大学生・高校生、中学生）	●
II.	調査結果（一般、大学生・高校生、中学生）	
	1. 基本構成	●
	2. 文化芸術への興味・関心	●
	3. 文化芸術に関する八戸市のイメージ	
	(1) 文化芸術に関する八戸市のイメージ	●
	4. 文化芸術との関わりについて	
	(1) 文化芸術との関わりについて	●
	5. 八戸市の文化芸術について	
	(1) 文化芸術の充実と魅力的な街の関係性	●
	(2) 八戸市の文化芸術について	●
	(3) 文化芸術に関する情報入手について	●
	(4) 文化芸術の持つ可能性を活かせる「分野」について	●
	(5) 「多文化都市八戸」について	●
	(6) 「八戸市のまちづくりビジョン」について	●
	(7) 八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿について	●
III.	調査概要（文化団体）	●
IV.	調査結果（文化団体）	
	IV-1.活動している団体について	
	1. 団体について	●
	2. 活動の頻度や場所について	●
	3. 課題について	●
	4. 情報発信について	●
	IV-2.回答者個人について	
	1. 基本構成	●
	2. 文化芸術に関する八戸市のイメージ	
	(1) 文化芸術に関する八戸市のイメージ	●
	(2) 文化芸術の充実と魅力的な街の関係性	●
	3. 八戸市の文化芸術について	
	(1) 八戸市の文化芸術について	●
	(2) 文化芸術に関する情報入手について	●
	(3) 文化芸術の持つ可能性を活かせる「分野」について	●
	(4) 「多文化都市八戸」について	●
	(5) 「八戸市のまちづくりビジョン」について	●
	(6) 八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿について	●

I. 調査概要(一般、大学生・高校生、中学生)

- 調査の目的 市民の文化芸術に対するイメージや関心、今後の文化芸術に対するニーズ等を調査することを目的とする。

- 調査対象

対象者	人数	有効回収数	有効回答率	選定(抽出)
①18歳以上の市民(一般)	1,212人	357票	29.5%	①令和元年10月31日現在の住民基本台帳より、無作為抽出による選出 ②市政モニター
②大学生	290人	231票	79.7%	市内2校
③高校生	972人	885票	91.0%	市内4校
④中学生	551人	495票	89.8%	市内7校
合計	3,025人	1,968票	65.1%	

- 調査方法
 - ①調査票のQRコードを読み取り、SNSで回答
 - ②同封の返信用封筒に入れ、投函
- 調査時期 令和元年11月～12月
- 調査項目
 - ①文化芸術への興味・関心について
 - ②文化芸術に関する活動について
 - ③文化芸術事業・施設について
 - ④文化芸術の情報入手について
 - ⑤八戸市の文化芸術について

Ⅱ 調査結果(一般、大学生・高校生、中学生)

1. 基本構成

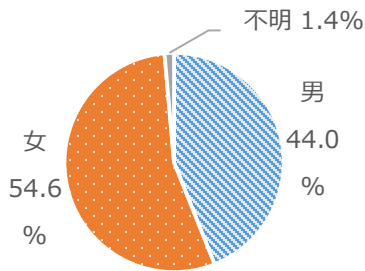
【問1】あなたについてお聞きします。

問1- (1) 性別

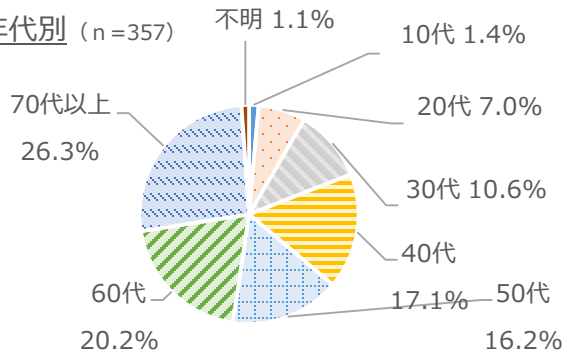
問1- (2) 年代

一般

男女比 (n=357)

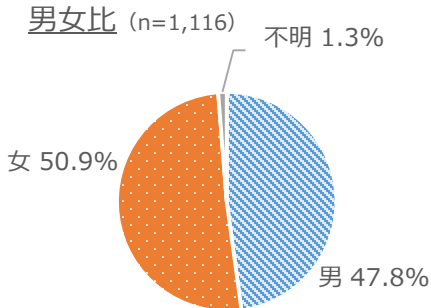


年代別 (n=357)

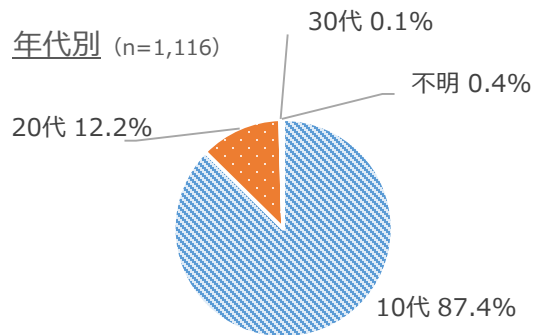


大学生・高校生

男女比 (n=1,116)

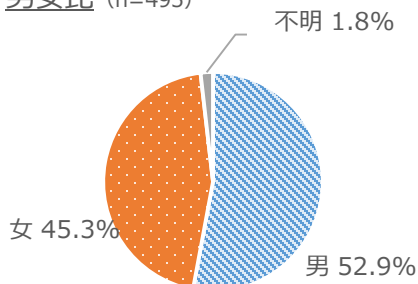


年代別 (n=1,116)



中学生

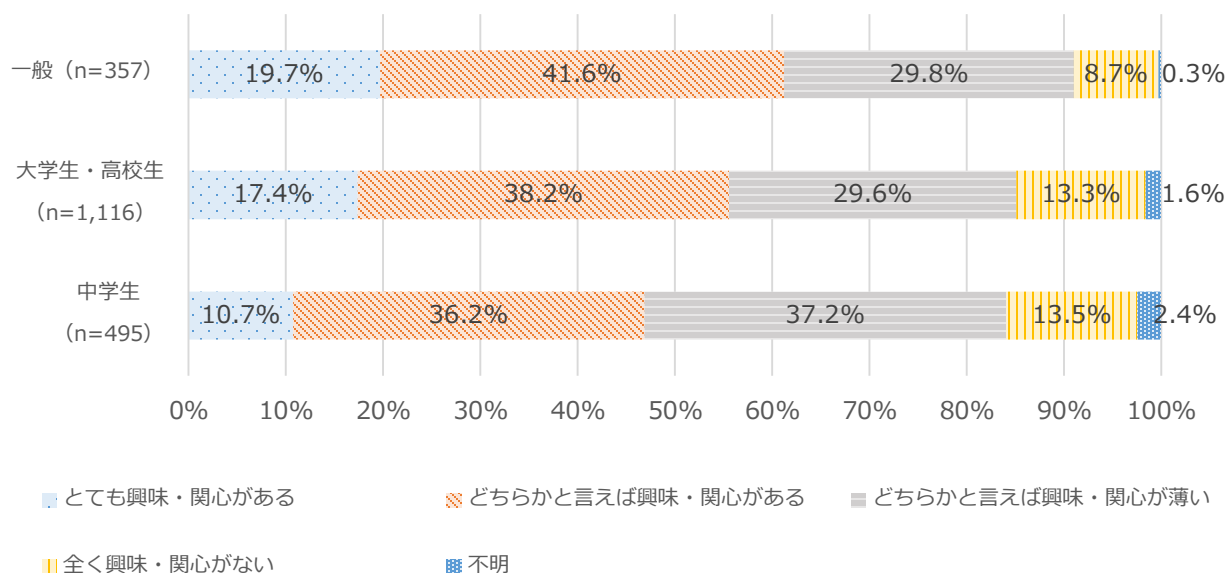
男女比 (n=495)



2. 文化芸術への興味・関心

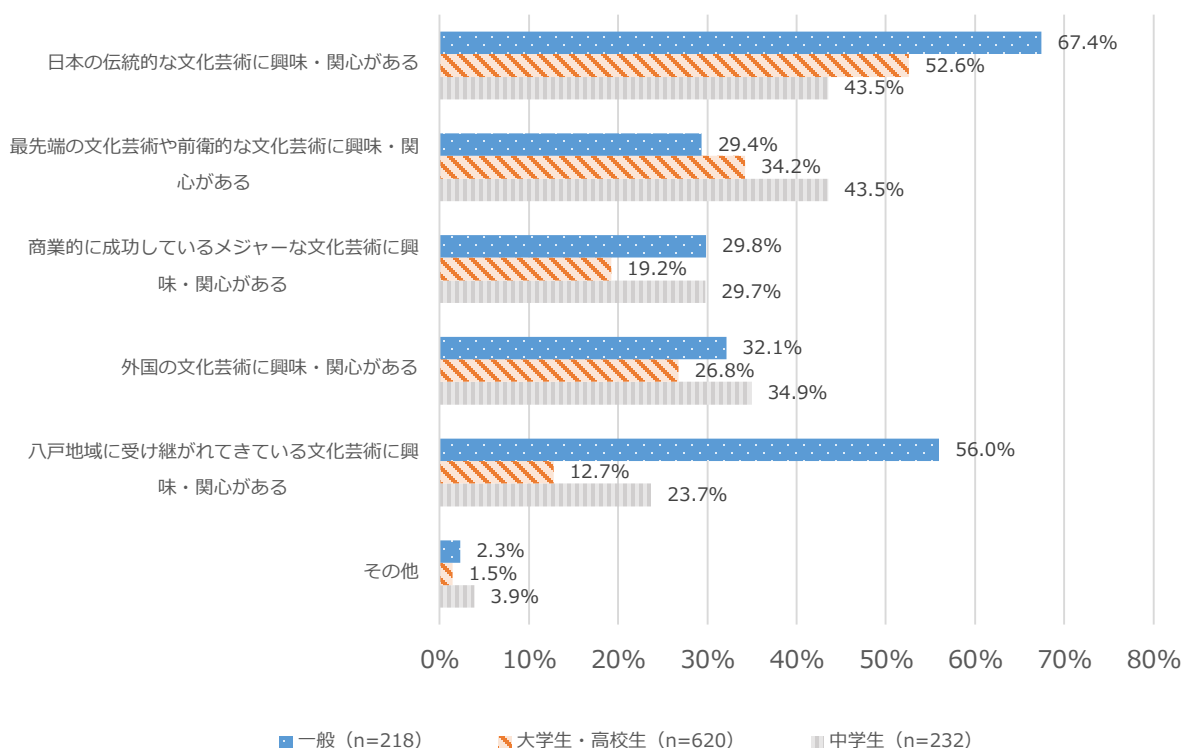
【問1-（3）】普段から何らかの文化芸術に興味・関心がありますか？

一般と大学生・高校生は「とても興味、関心がある」「どちらかと言えば興味、関心がある」が50%を超えているが、中学生は50%を下回る結果となった。



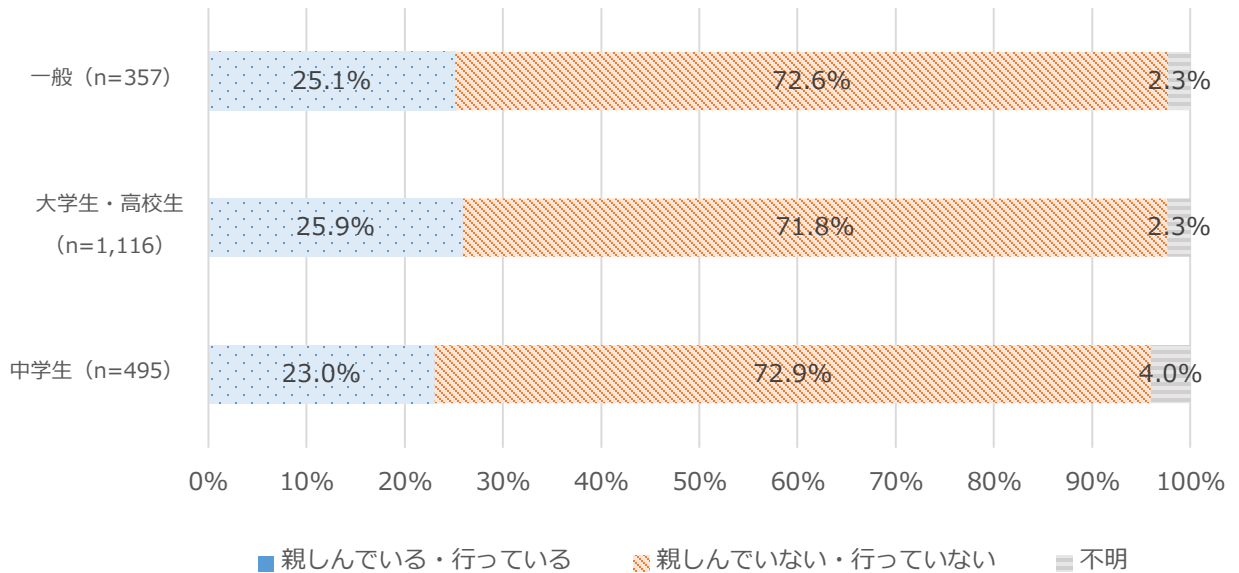
【問1-（4）】（3）で「興味・関心がある（1又は2）」とお答えした方にお聞きます。興味・関心があるのは、どのような分野でしょうか？

「日本の伝統的な文化芸術」への興味・関心が各世代で最も高くなった。一般は「八戸地域の文化」への興味・関心が2番目に高く、大学生・高校生と中学生では「最先端の文化」への興味・関心が2番目に高い結果となった。



【問1-5】 普段から文化芸術「活動」に親しんでいますか？

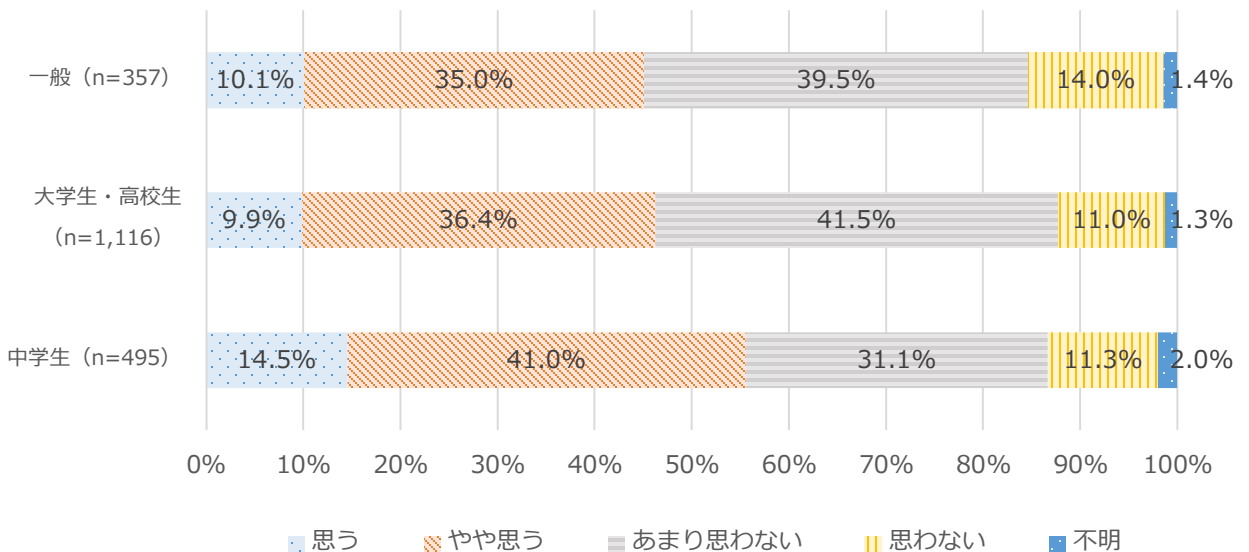
全体の傾向としては、「親しんでいない・行っていない」が最も高く、70%を超える結果となった。



3. 文化芸術に関する八戸市のイメージ

【問2-1】 八戸市は文化芸術活動が盛んなまちだと思いますか？

一般では「盛んなまちだと思う」「やや思う」が45.1%、大学生・高校生は46.3%、中学生は55.5%となり、中学生が最も高くなったが、全体として同じ傾向であることが分かった。



4. 文化芸術との関わりについて

【問3- (1)】文化芸術との関わりについてお聞きます。(複数回答可)

- ①あなたにとって興味・関心のあるもの →「興味」
- ②過去1年間に鑑賞したもの →「鑑賞」
- ③過去1年間に自ら取り組んだもの →「活動」
- ④市民等による市内での活動が活発だと思うもの →「活発」
- ⑤鑑賞の機会が増えたほうがいいと思うもの →「機会」
- ⑥市民等の活動がより活発になることを期待するもの →「期待」

「①興味」では、「映画」「音楽」が全ての世代で40%～50%台となり、高い関心を示していることが分かった。次いで、30%を超えているのが「美術」、20%～30%台が「祭・民俗芸能」「舞台芸術」「演芸」「生活文化」となった。世代別の傾向では、「映画」は各世代の関心が高いが、特に大学生から中学生の関心が高く、「祭・民俗芸能」では一般の関心が高いという結果となった。

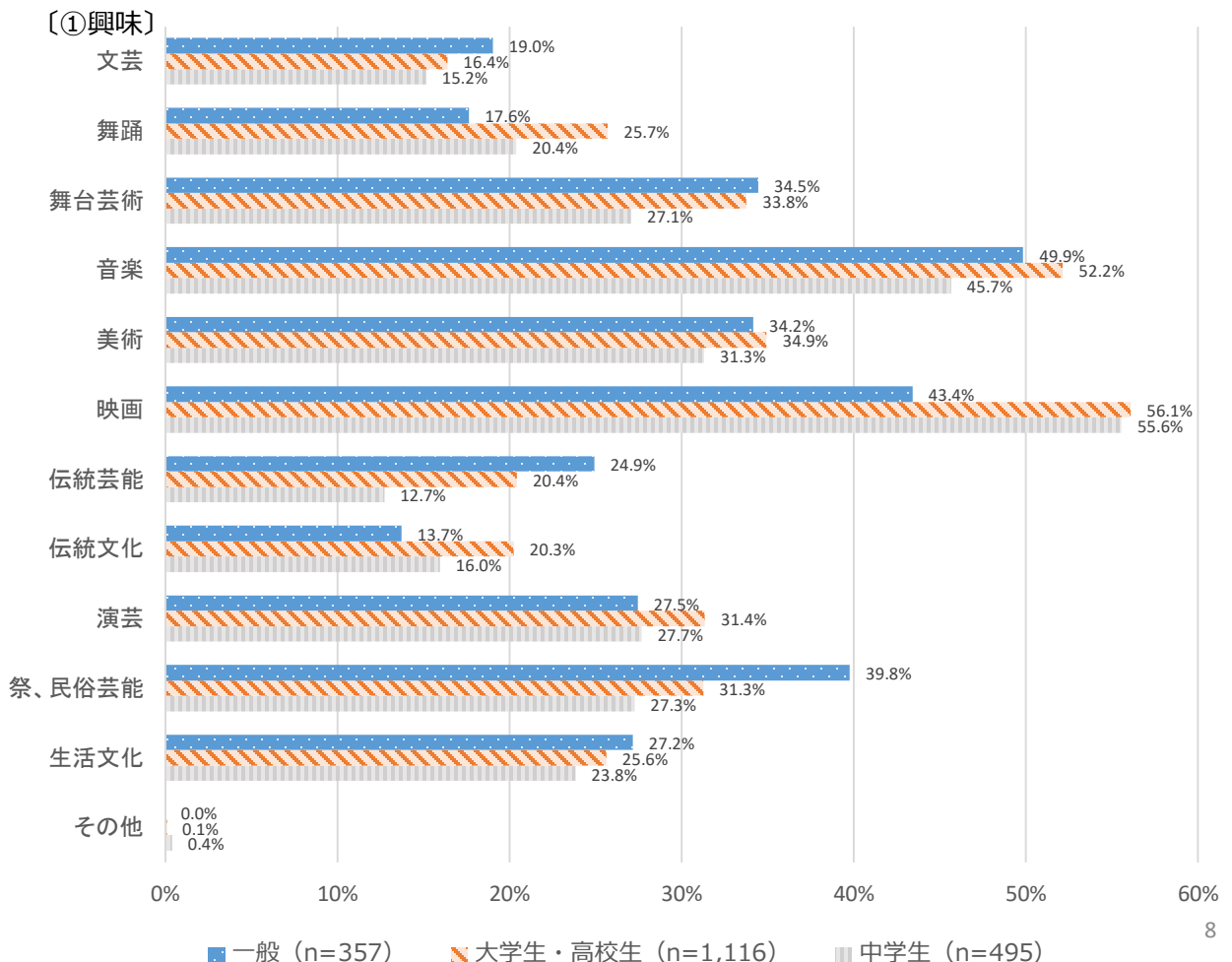
「②鑑賞」では、「映画」は各世代で高く、特に大学生・高校生、中学生が高いという結果になった。次いで、「祭・民俗芸能」「音楽」が全ての世代で30%～40%台となった。各世代の中でも、「舞踊」「舞台芸術」「伝統芸能」「演芸」は大学生・高校生の数値が他と比べて5%～10%程度高く、「文芸」は中学生の数値が高い。

「③活動」では、数値が高い項目はいずれも、中学生から大学生の数字が高い傾向があり、授業の影響が考えられる。

「④活発」では、「祭・民俗芸能」が30%～40%台となり、突出して高いという結果になった。次いで、「生活文化」は各世代共通して13%前後であり、「文芸」では一般の評価が他世代と比較して目立って高かった。

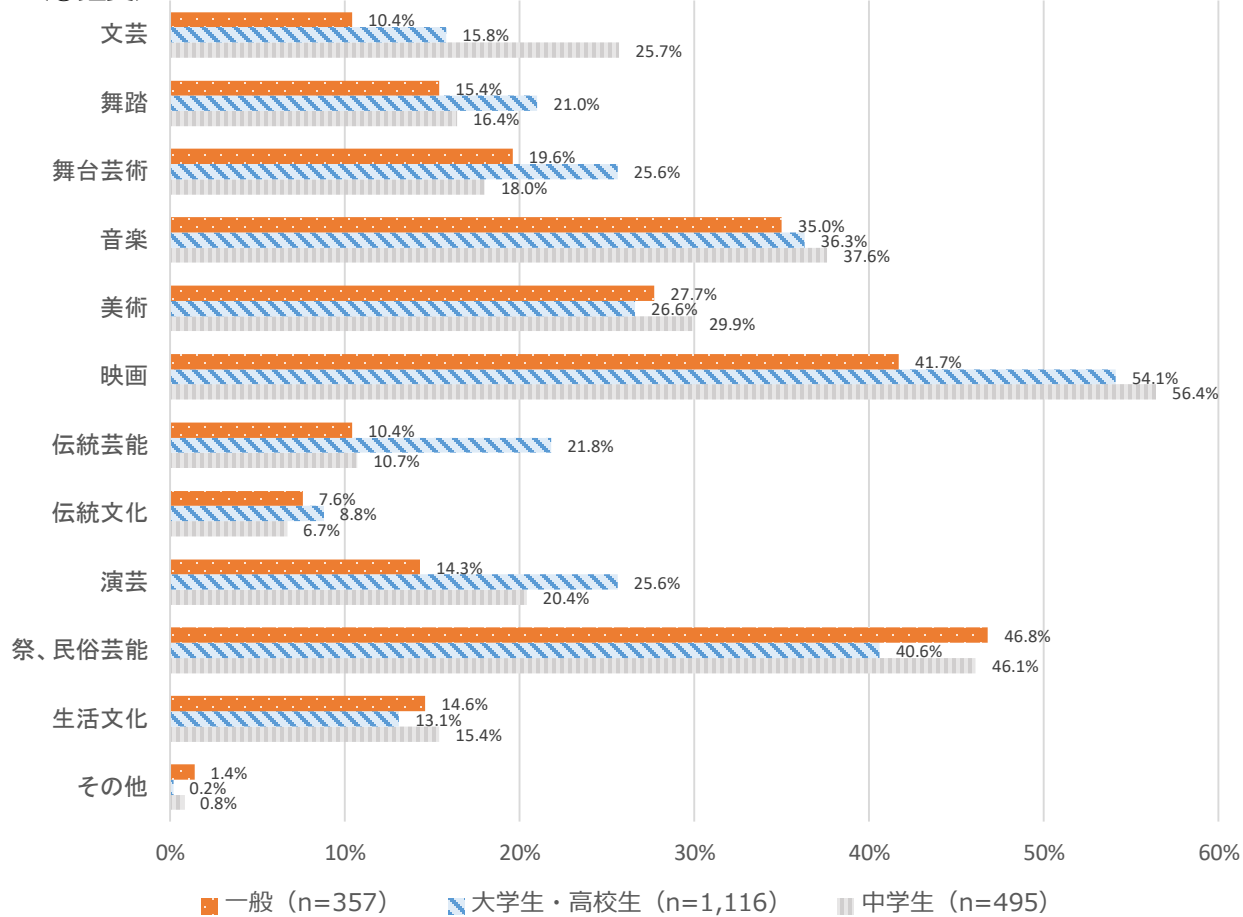
「⑤機会」では、「舞台芸術」「音楽」が高く、各世代の評価が20%～30%台となり、特に一般の評価が多世代よりも高い結果となった。

「⑥期待」に関しても、「舞台芸術」「音楽」が高くなっており、「舞台芸術」「音楽」「生活文化」「舞踊」「美術」「文芸」の6ジャンルで、一般の期待が他の世代と比較して大きくなった。

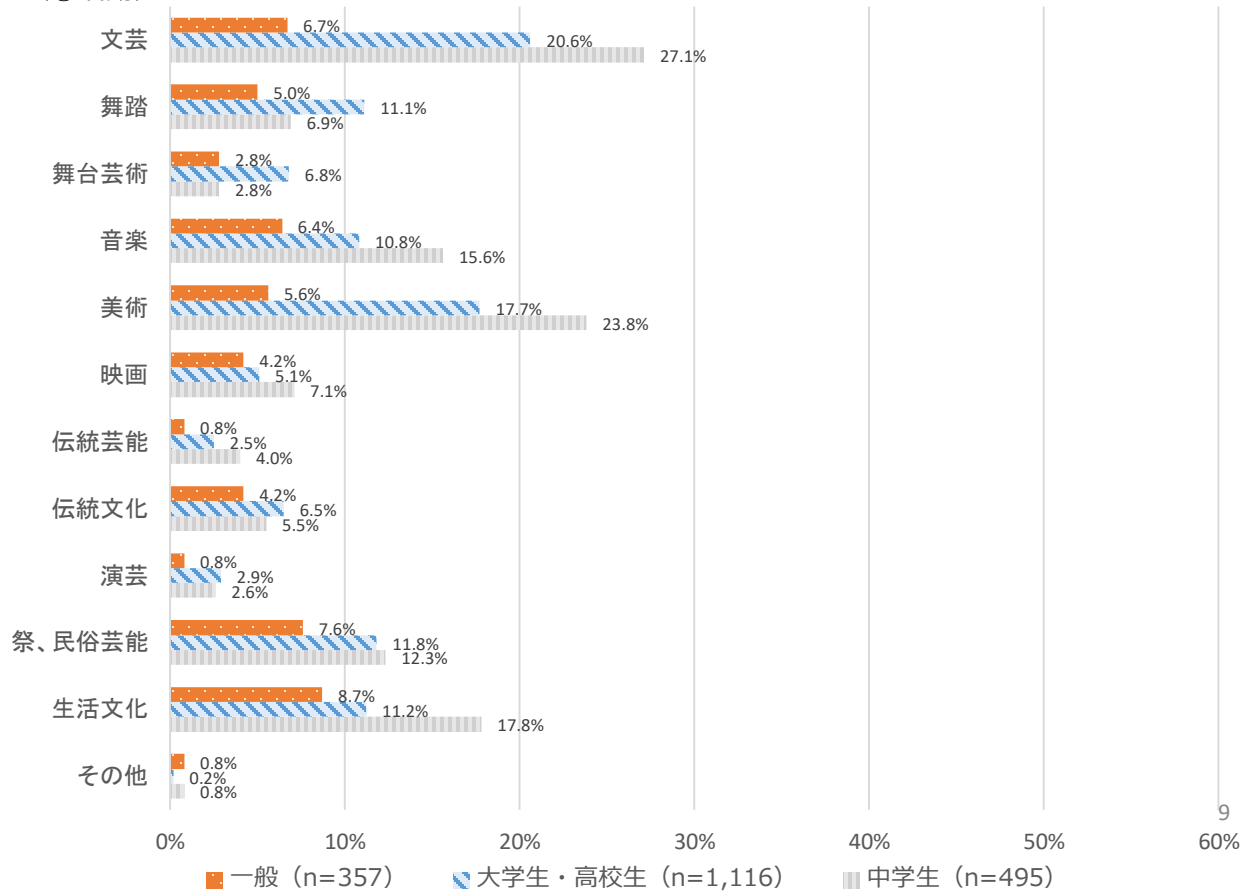


資料編 1 市民アンケート・ヒアリング調査結果

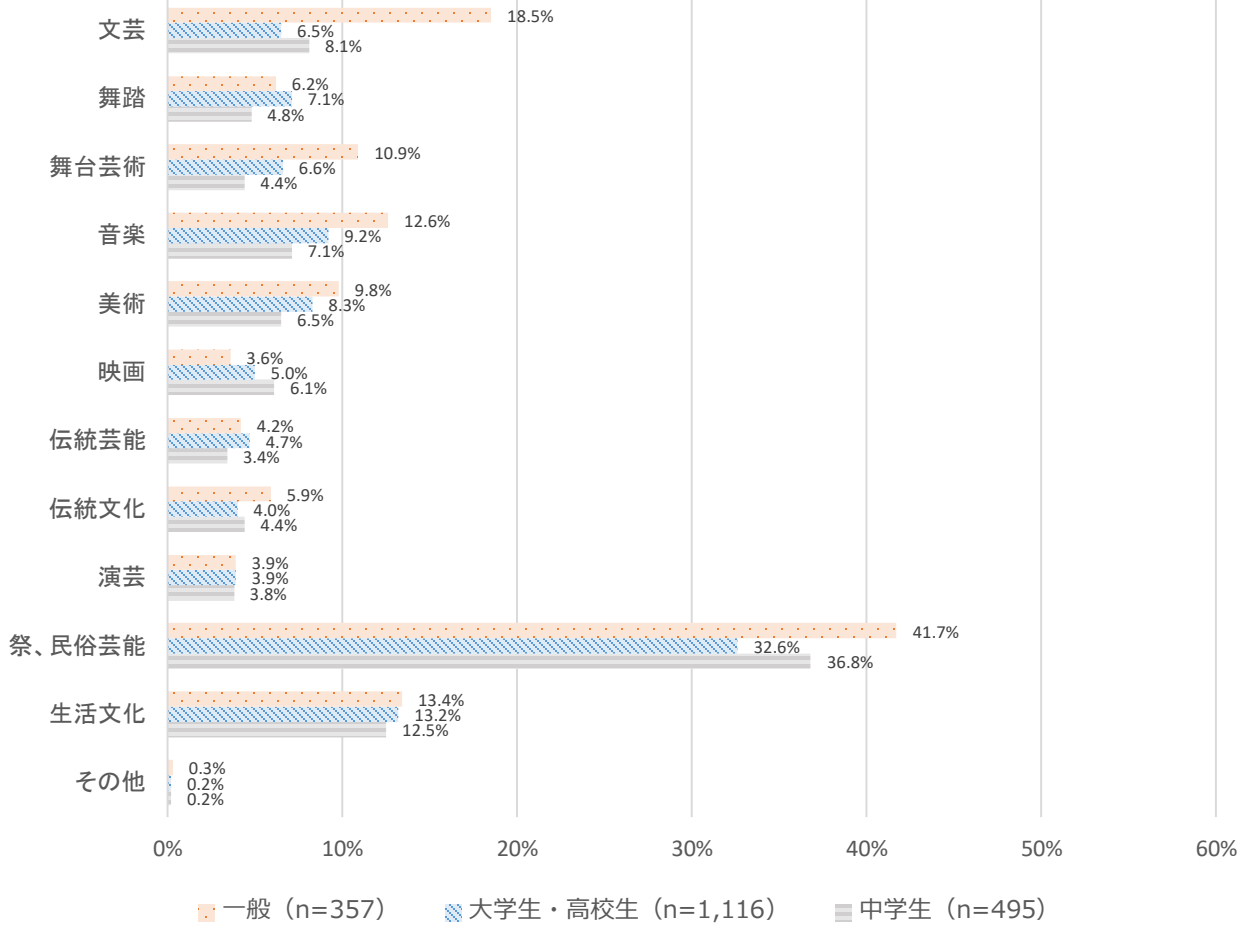
〔②鑑賞〕



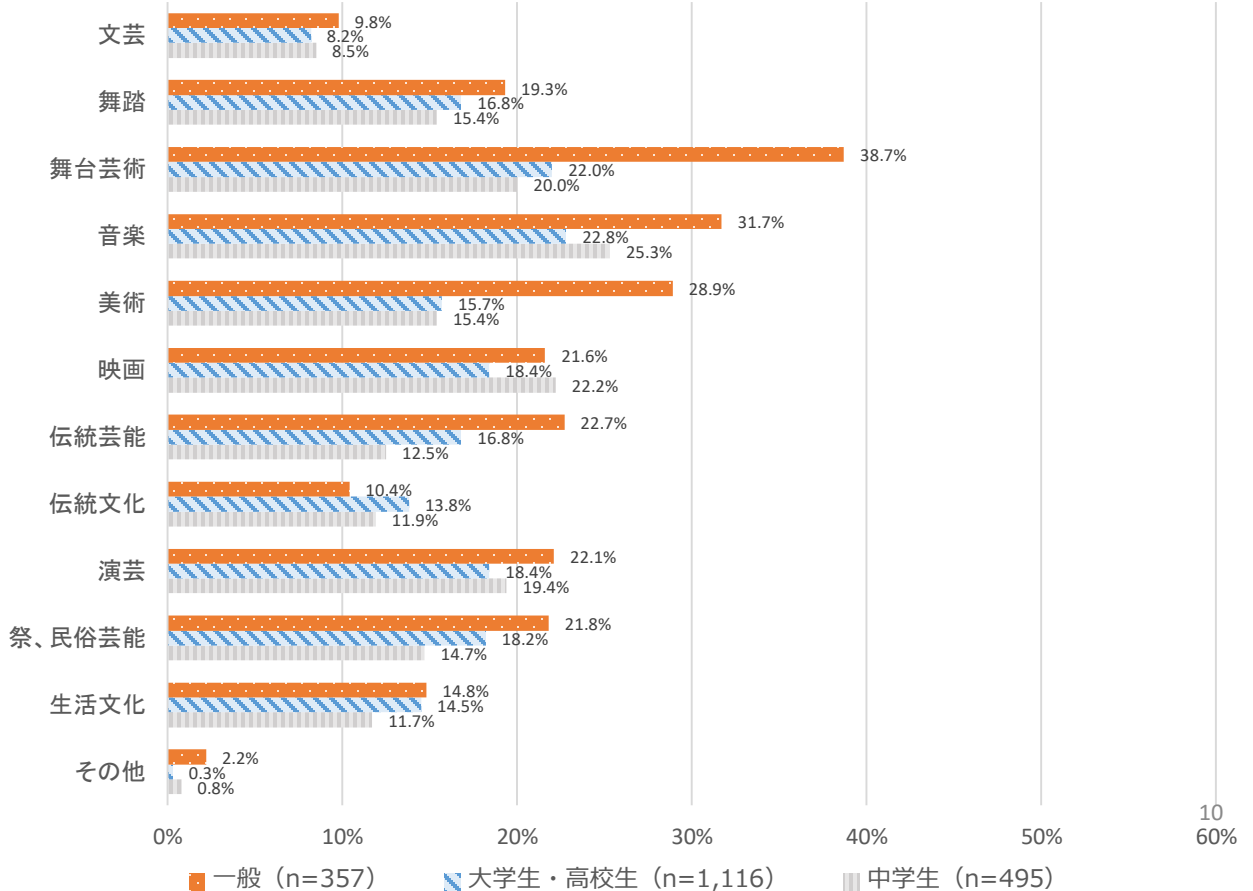
〔③活動〕

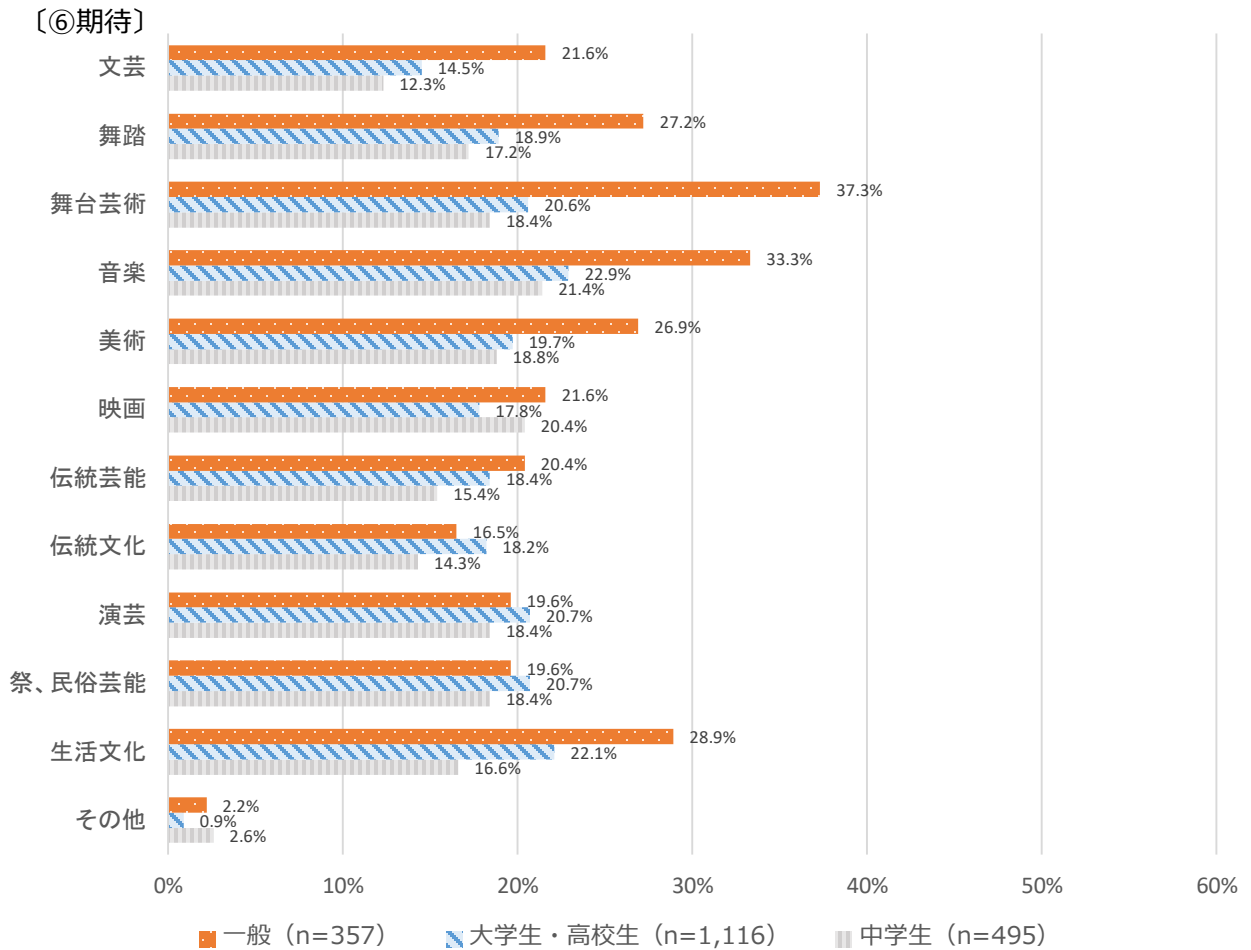


〔④活発〕



〔⑤機会〕





【問3- (2)】施設別にお聞きします。(複数回答可)

- ①以下の施設のうち、知らない施設 → 「知らない」
- ②過去1年間に鑑賞で利用した施設 → 「鑑賞」
- ③過去1年間に文化芸術活動（創作、練習、発表等）で利用した施設 → 「活動」
- ④文化芸術に関する催しが盛んだと思う施設 → 「活発」
- ⑤鑑賞機会の提供について、より充実を期待する施設 → 「期待」

【公共施設】

「①知らない」では、南郷地区の文化施設のほか、中心市街地では「更上閣」「南部会館」が全世代で数値が高いことから認知度が低く、「はっち」「マチニワ」「公会堂」は数値が低いことから認知度が高いことが分かった。また、一般と比較すると、大学生・高校生、中学生の数値が高い傾向であるが、「はっち」「マチニワ」のほか、授業等で利用する機会のあると考えられる「是川縄文博物館」「公会堂」などは、比較的低い結果となった。

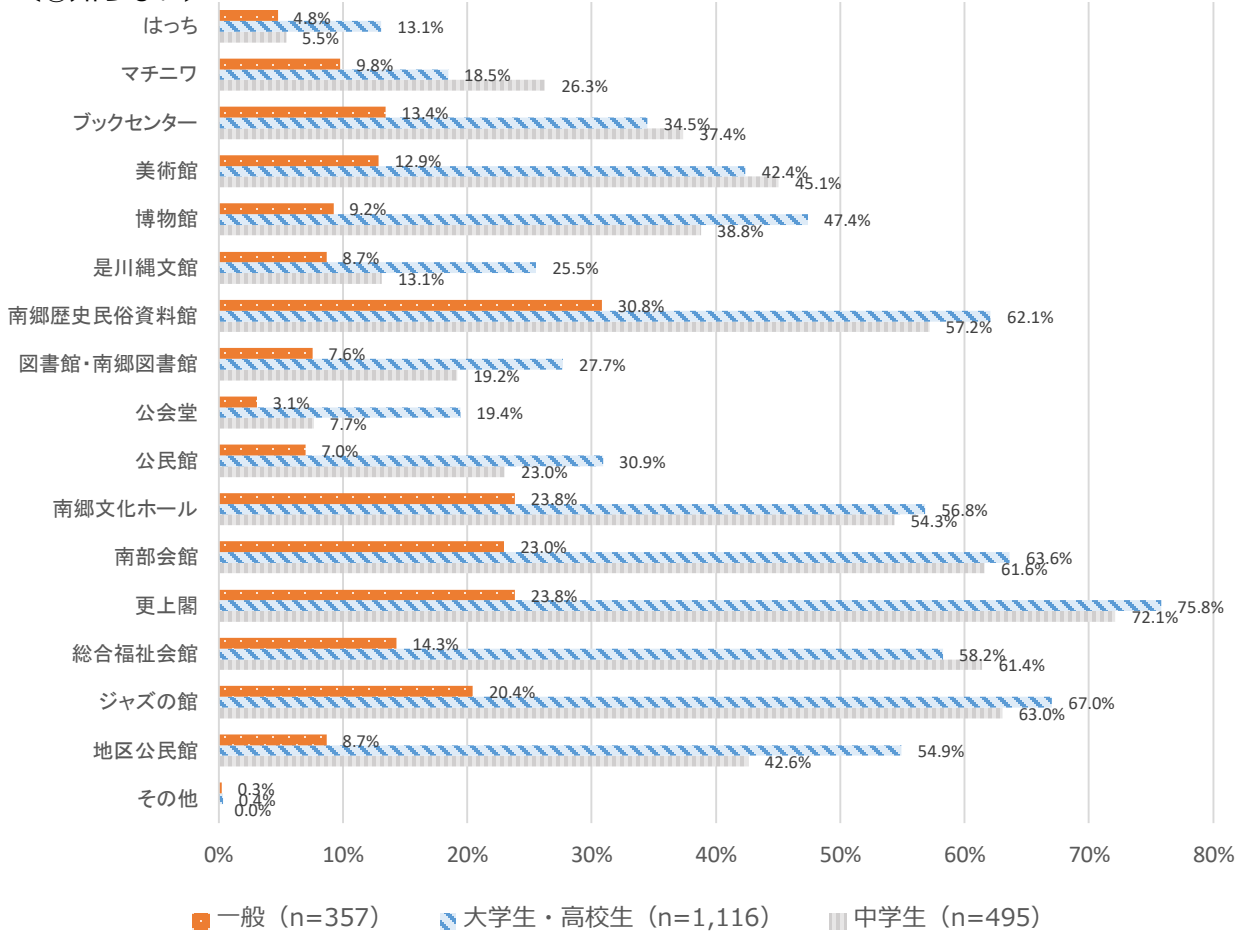
「②鑑賞」では、「はっち」「マチニワ」「公会堂」は全世代で利用度が高い。3施設以外で30%を超えたのは、一般の「図書館・南郷図書館」「公民館」のみであった。全ての施設で、一般の利用が高い傾向がある。

「③活動」では、「はっち」「公会堂」「公民館」が高い結果となった。特に、「公会堂」は中学生の数値が高く、「はっち」「マチニワ」は大学生・高校生、「総合福祉会館」「地区公民館」は一般が他世代と比較して高くなった。

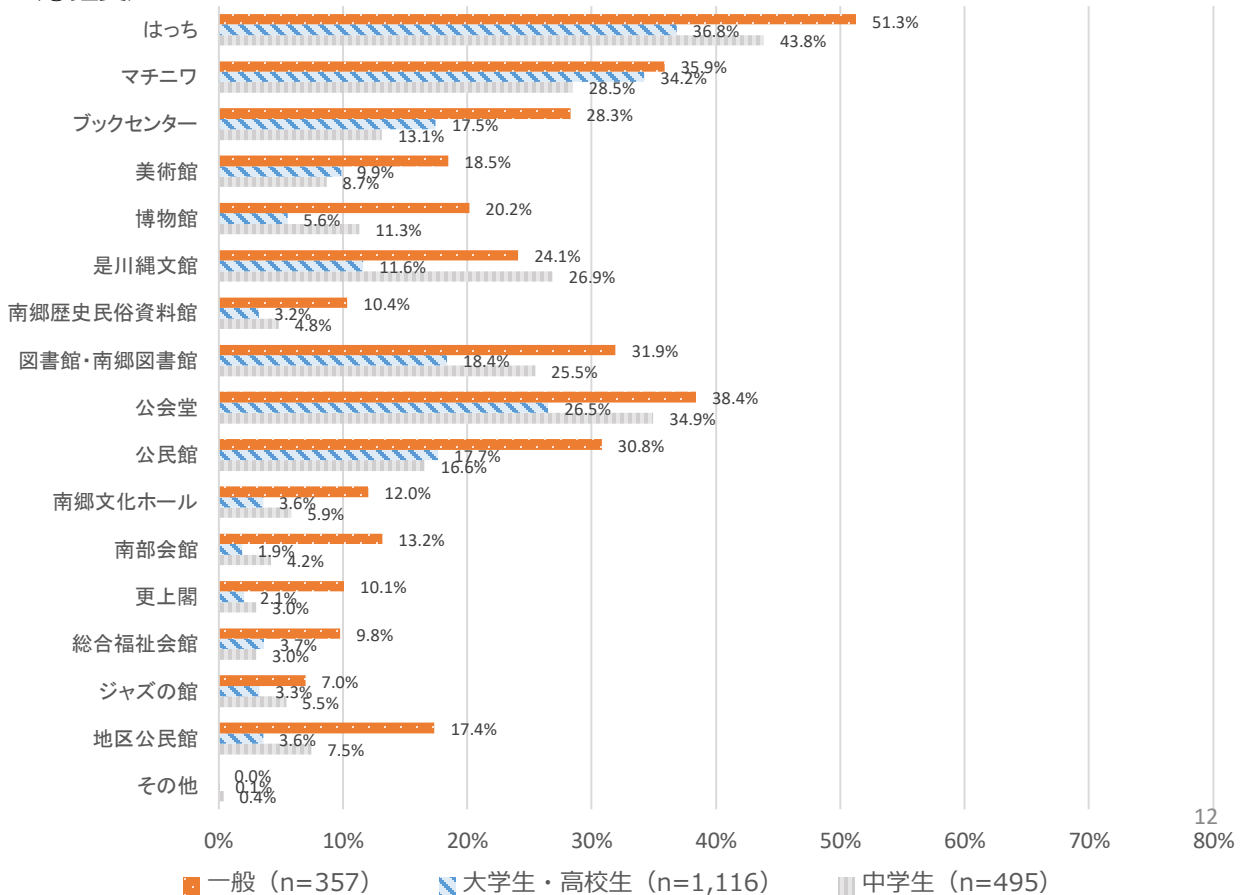
「④活発」では、「はっち」が概ね30%以上が活発と評価している。「マチニワ」は大学生・高校生が、「公会堂」「公民館」は一般が、「是川縄文館」は中学生が評価しており、普段の利用に応じた結果であると推測される。

「⑤期待」では、一般は「公会堂」「美術館」「マチニワ」「はっち」の順で高い数値を示しており、大学生・高校生、中学生も同様の傾向を示していたが、「美術館」については一般と比較すると低い結果となった。また、全ての施設において、大学生・高校生、中学生と比較して、一般の期待値が高くなった。

〔①知らない〕

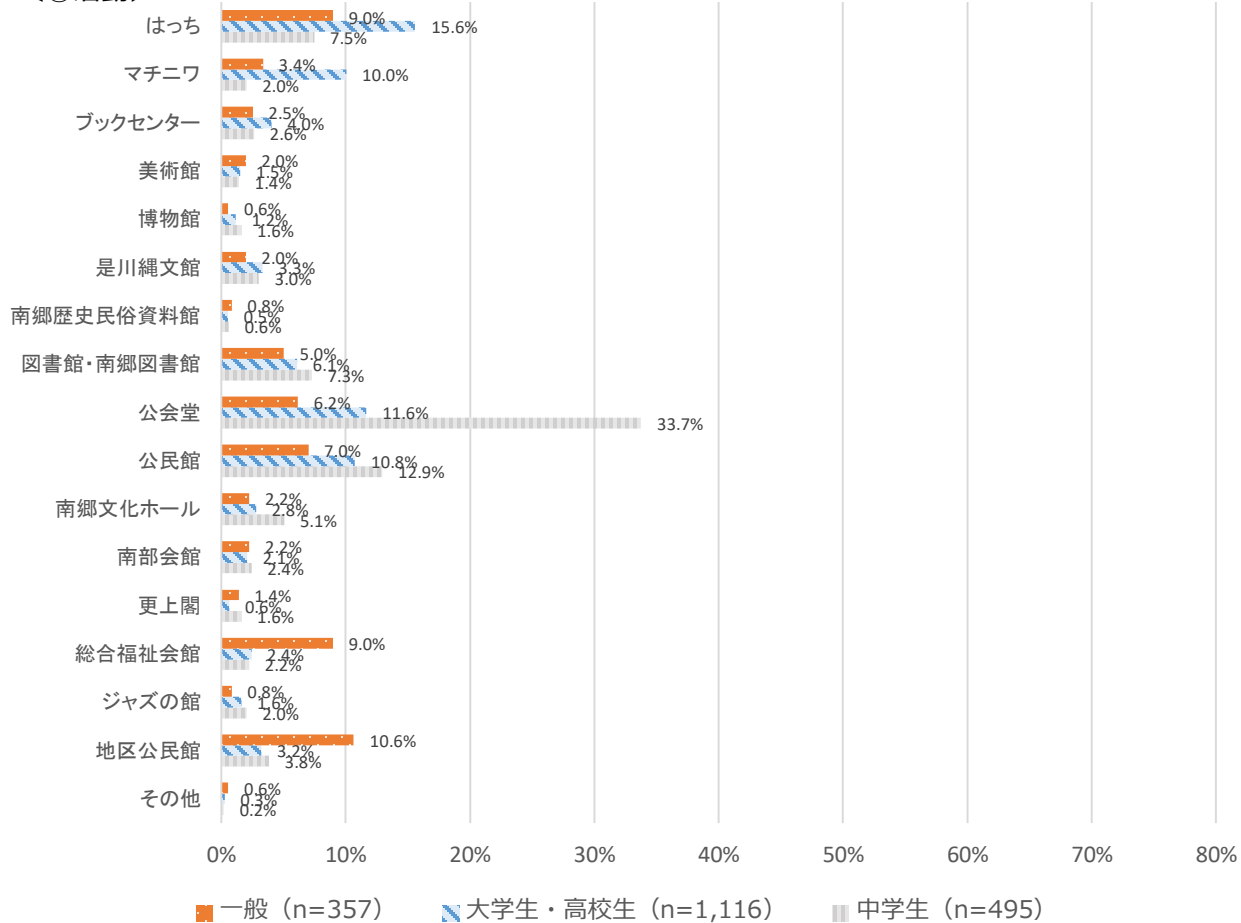


〔②鑑賞〕

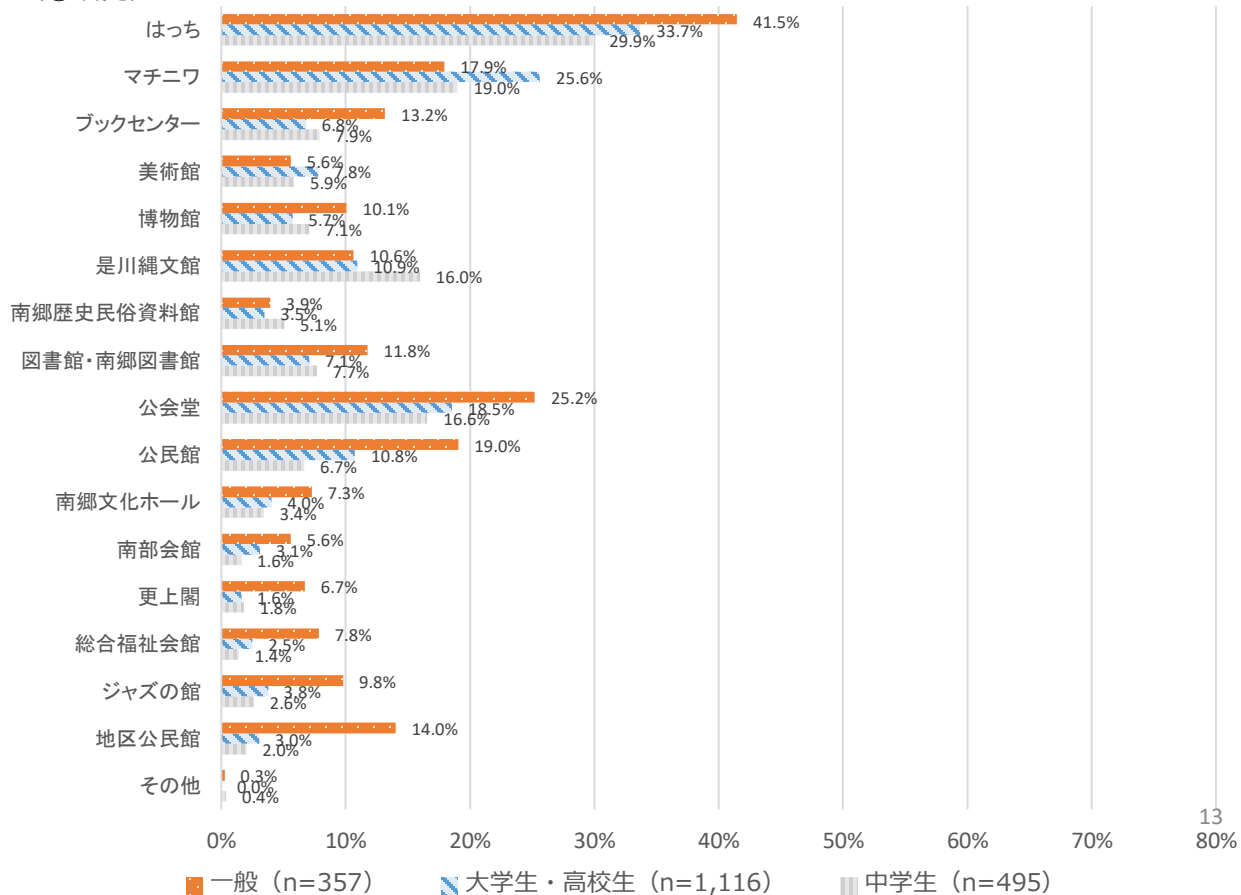


資料編 1 市民アンケート・ヒアリング調査結果

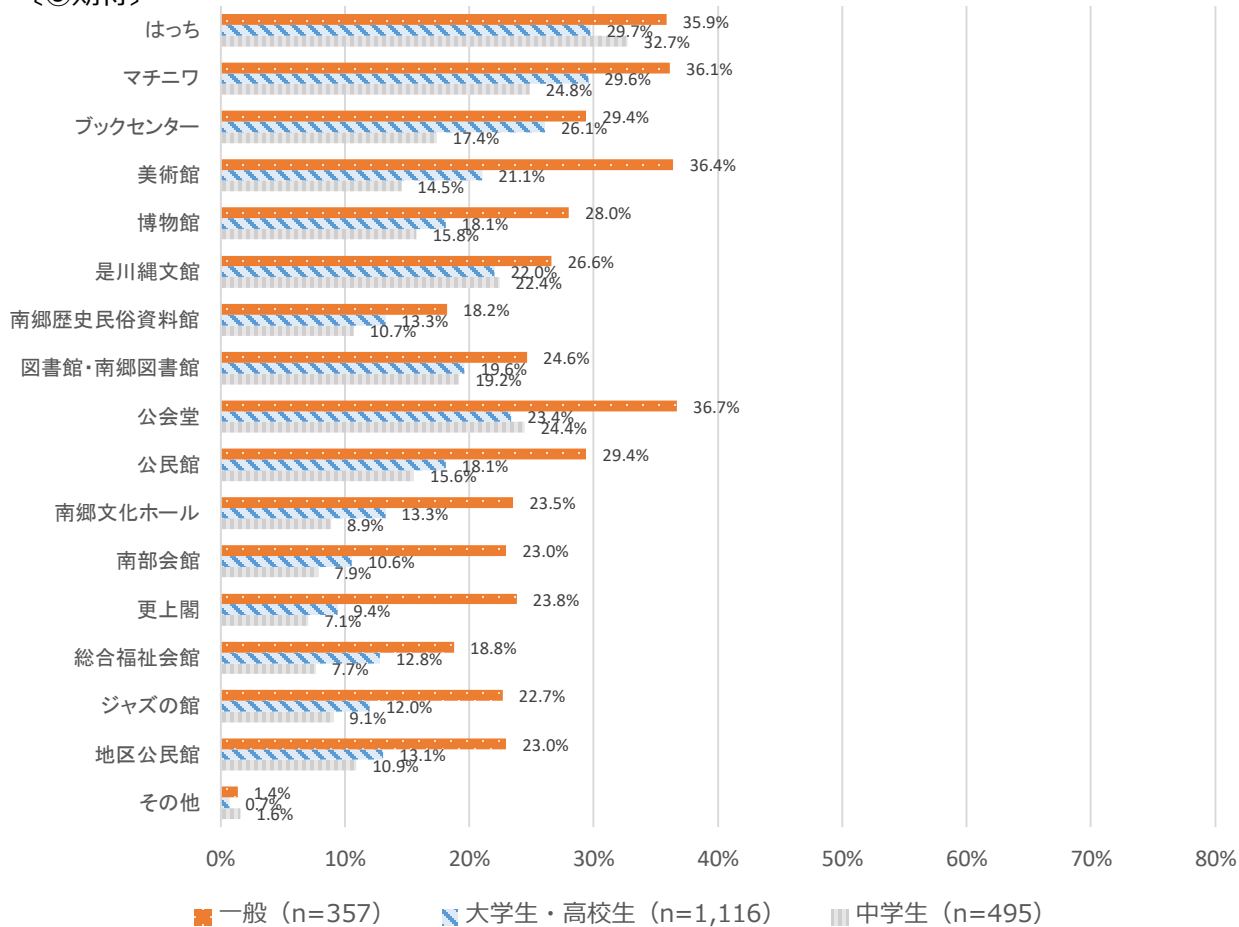
〔③活動〕



〔④活発〕



〔⑤期待〕



【民間施設】

「①知らない」では、全世代が50%を下回ったのは「厨ホール」「フォーラム八戸」「デーリー東北ホール」の3施設のみとなった。一般と比較すると、大学生・高校生、中学生の認知度がいずれの施設でも高い数値となった。

「②鑑賞」では、全世代で30%を超えたのは「フォーラム八戸」で、次いで「厨ホール」が約20%、多くの施設は10%を下回る結果となった。他世代と比較すると、一般の利用が比較的高い傾向があるが、いくつかのライブハウスは大学生・高校生の利用が高い結果となった。

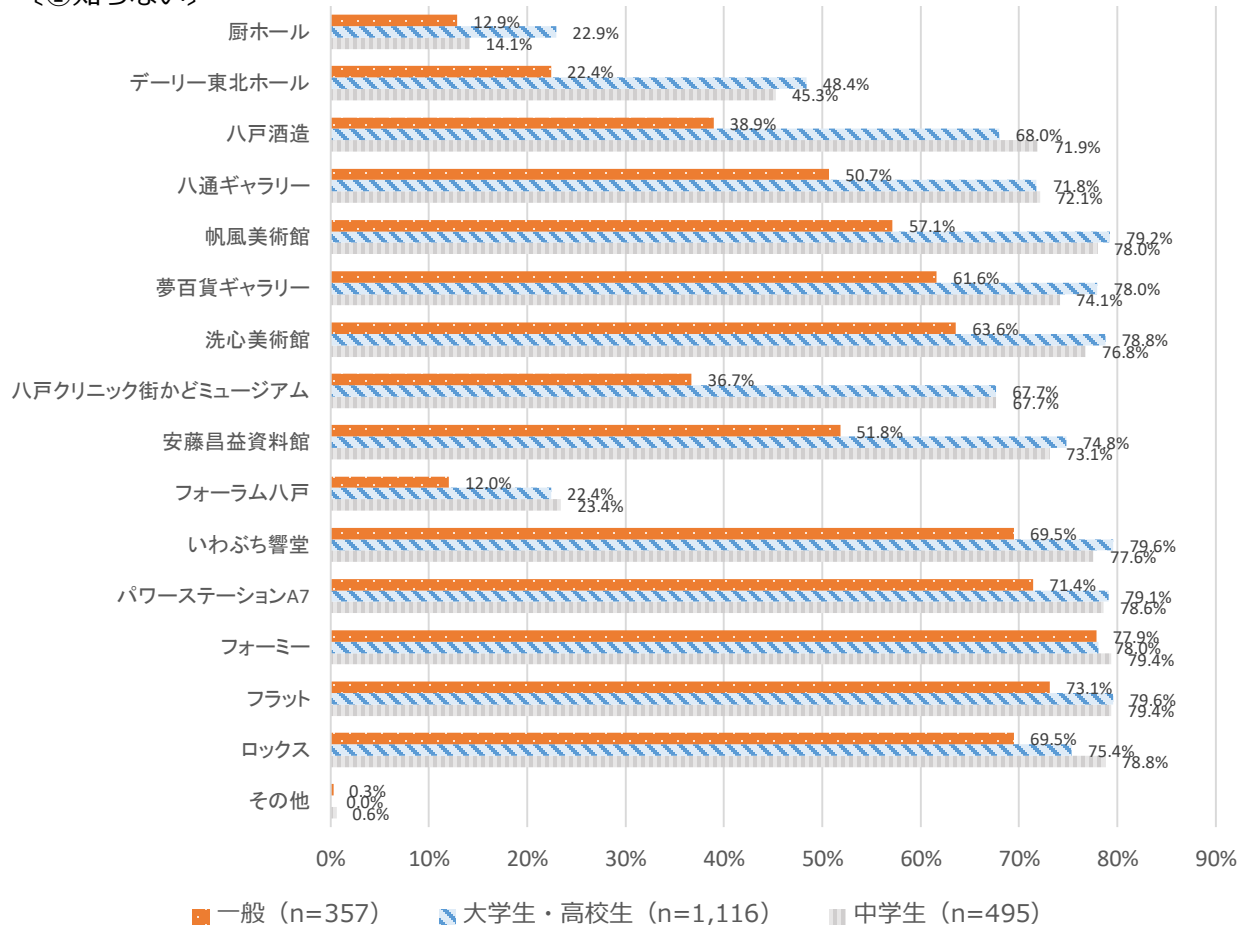
「③活動」では、「厨ホール」「八戸フォーラム」「デーリー東北ホール」が高く、他施設は軒並み1%を前後であった。

「④活発」では、「厨ホール」が中学生から大学生の評価が比較的高く、「デーリー東北ホール」「八戸酒造」「八戸クリニック街かどミュージアム」では一般の評価が比較的高くなった。

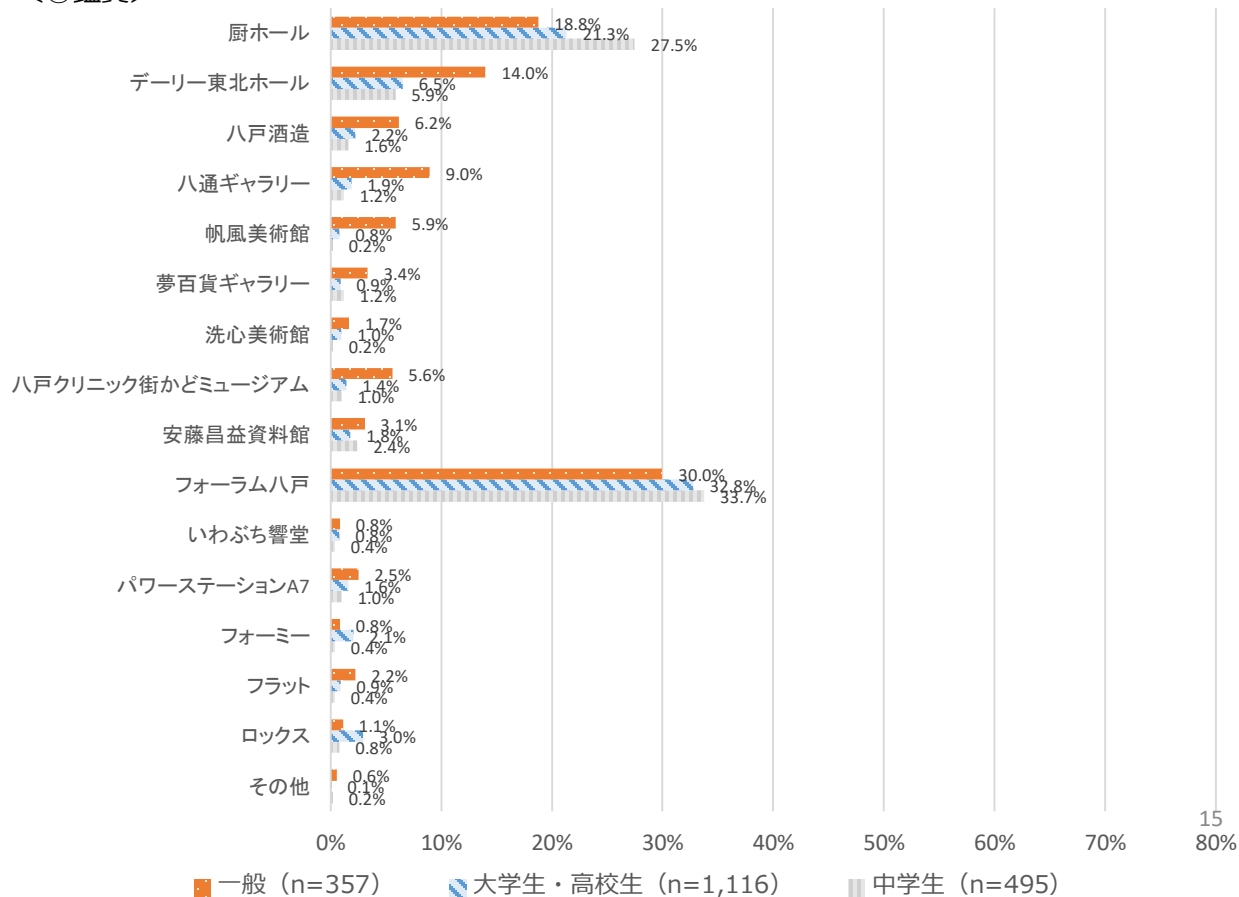
「⑤期待」では、「厨ホール」「八戸フォーラム」が全世代で20%を超える結果となった。「デーリー東北ホール」「街かどミュージアム」「八戸酒造」等は一般からの他世代と比較して一般の評価が高く、「いわぶち響堂」等のライブハウスは大学生・高校生、中学生からの評価が高い結果となった。

資料編 1 市民アンケート・ヒアリング調査結果

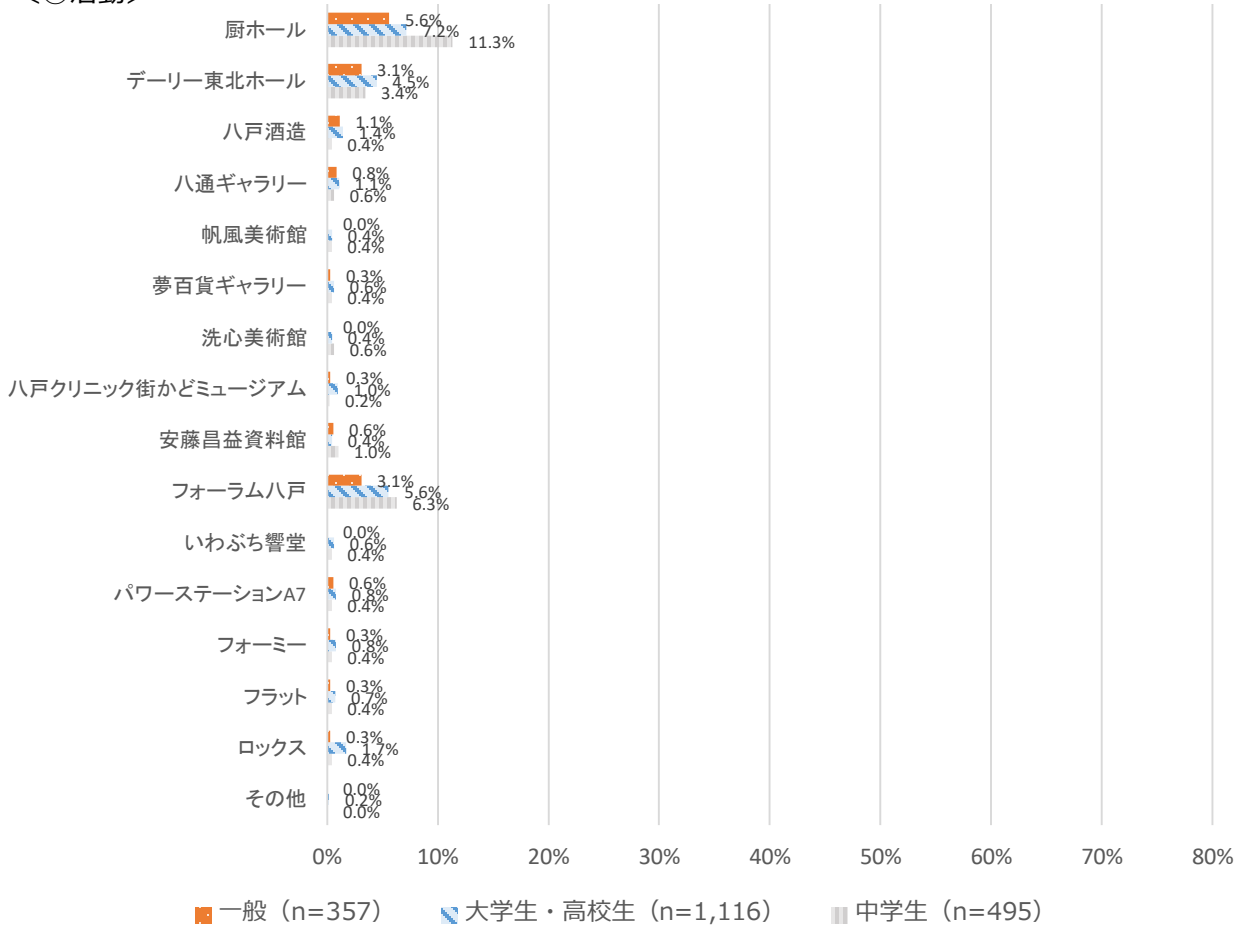
〔①知らない〕



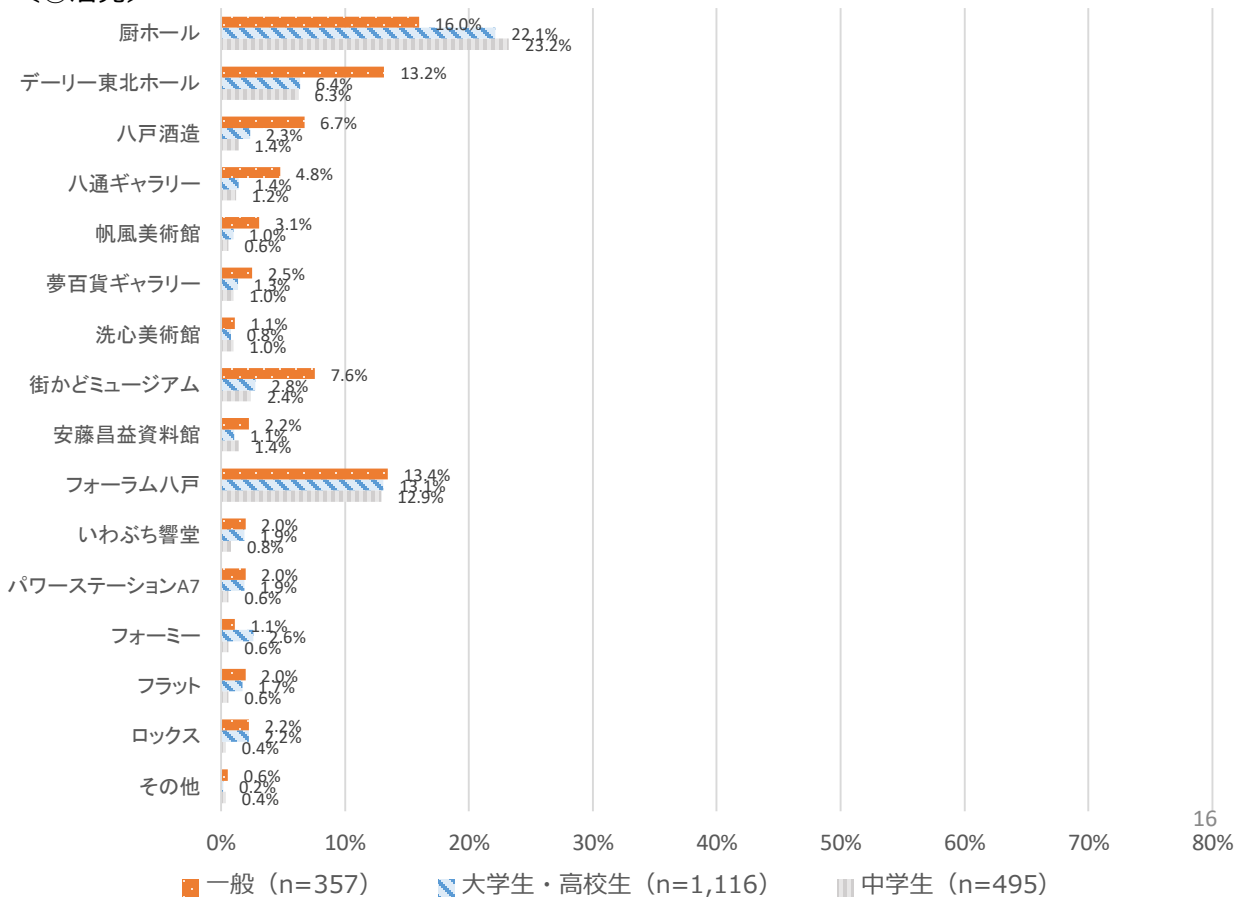
〔②鑑賞〕



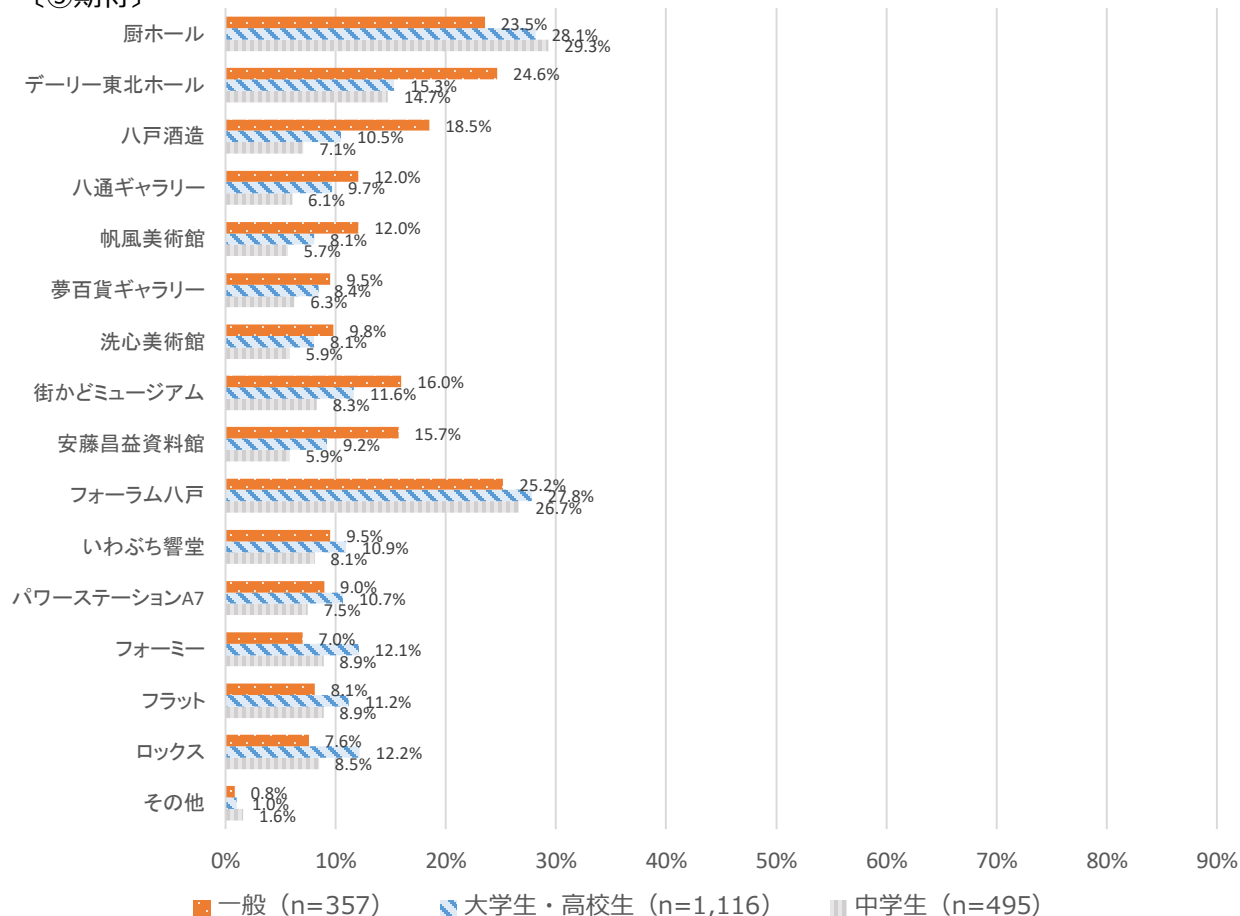
〔③活動〕



〔④活発〕



〔⑤期待〕



【問3- (3)】事業別にお聞きします。(複数選択可)

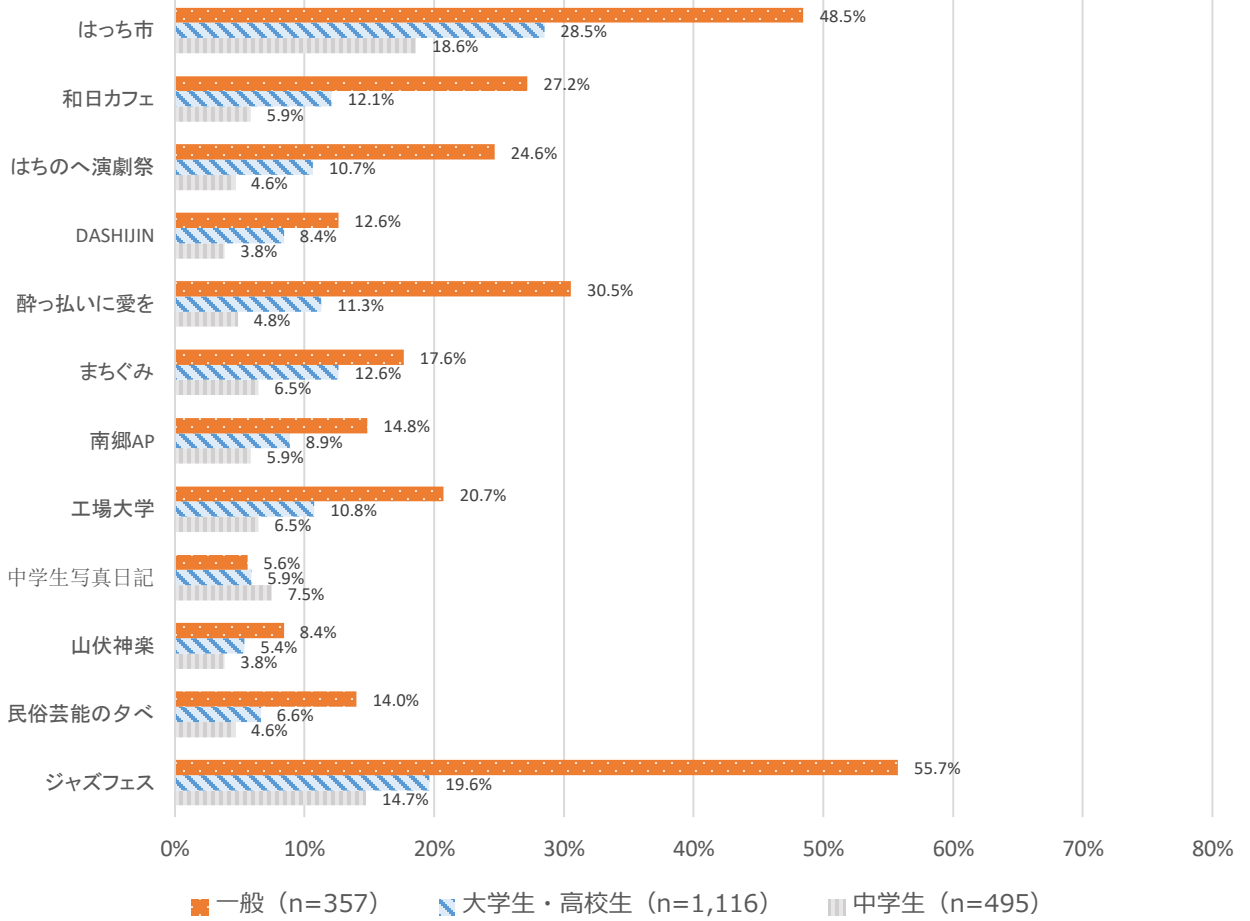
- ①知っている事業 → 「知っている」
- ②過去1年間に利用や鑑賞、参加した事業 → 「利用・鑑賞・参加」
- ③より充実した事業実施を期待する事業 → 「期待」

「①知っている」と回答した事業について、「はっち市」「ジャズフェスティバル」の数値が高く、また、「中学生写真日記」以外は一般の数値が大学生・高校生、中学生よりも高い結果となった。

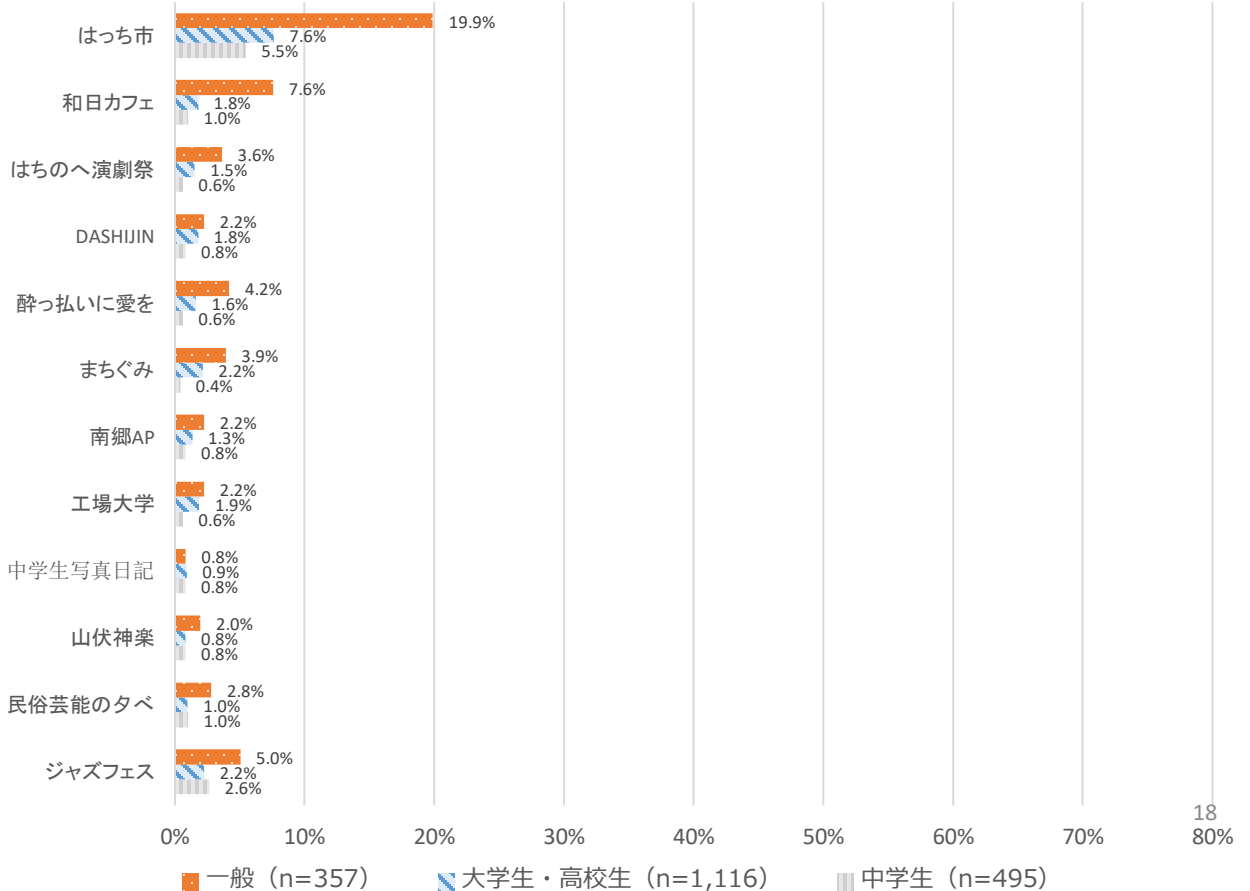
「②利用・鑑賞・参加」では、各世代ともに「はっち市」の数値が高く、「和日カフェ」「ジャズフェスティバル」が続いた。他の事業については、一般と大学生で事業毎に少し数値が出ているが、特に大学生・高校生と中学生は、「ジャズフェスティバル」と大学生・高校生の「まちぐみ」に数値が出ている以外0付近で推移している。

「③興味」では、大学生・高校生の期待が概ね30%台で推移するのに比較して、一般と中学生の期待が20%台で推移している。

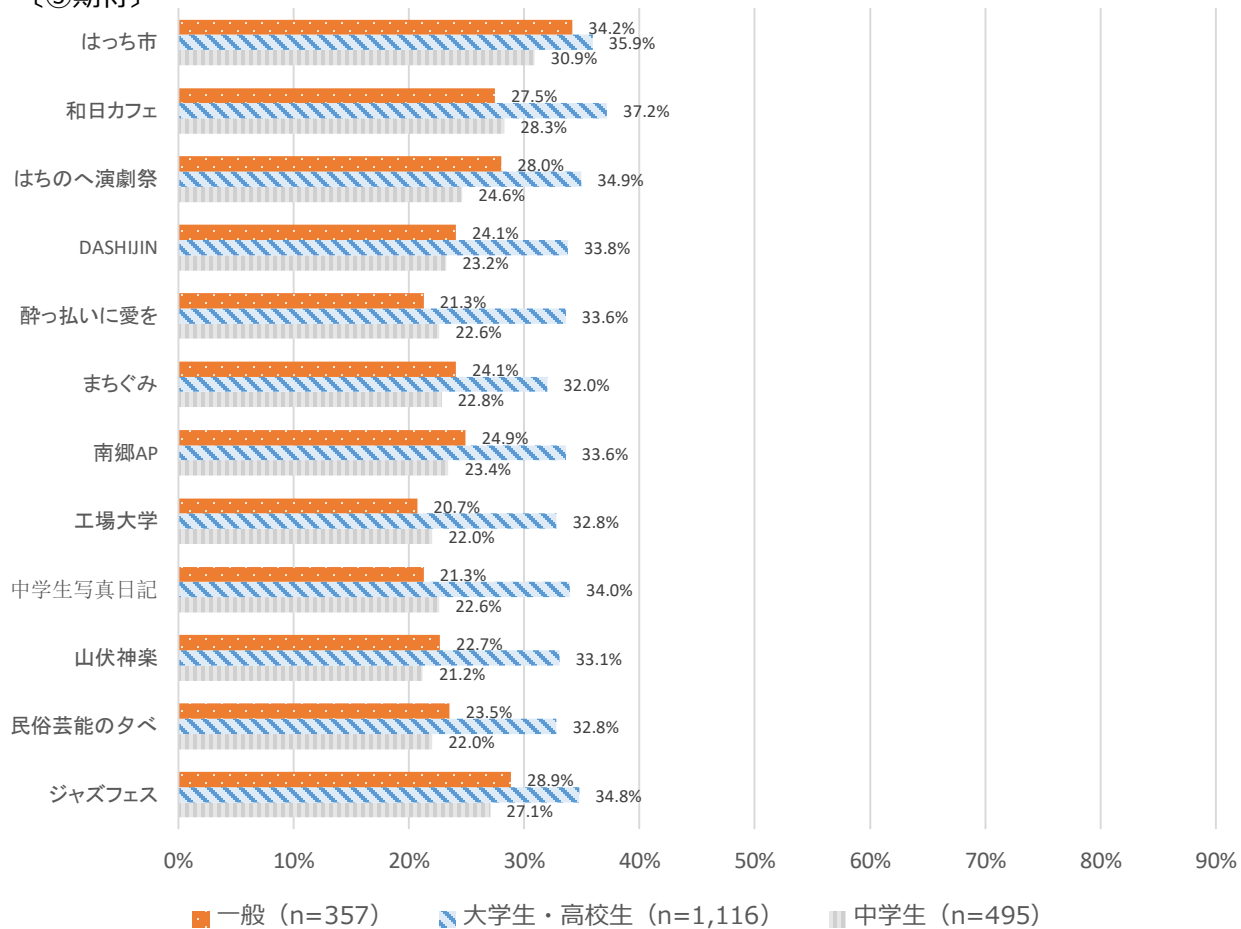
〔①知っている〕



〔②利用・鑑賞・参加〕



〔③期待〕

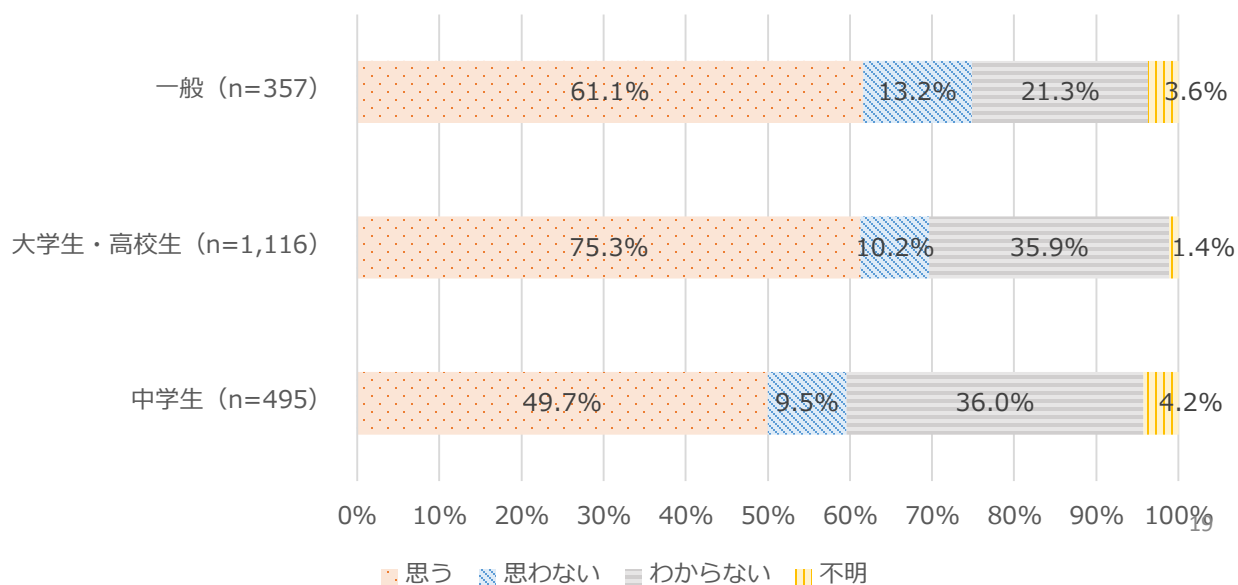


5. 八戸市の文化芸術に関して

(1) 文化芸術の充実と魅力的な街の関係性

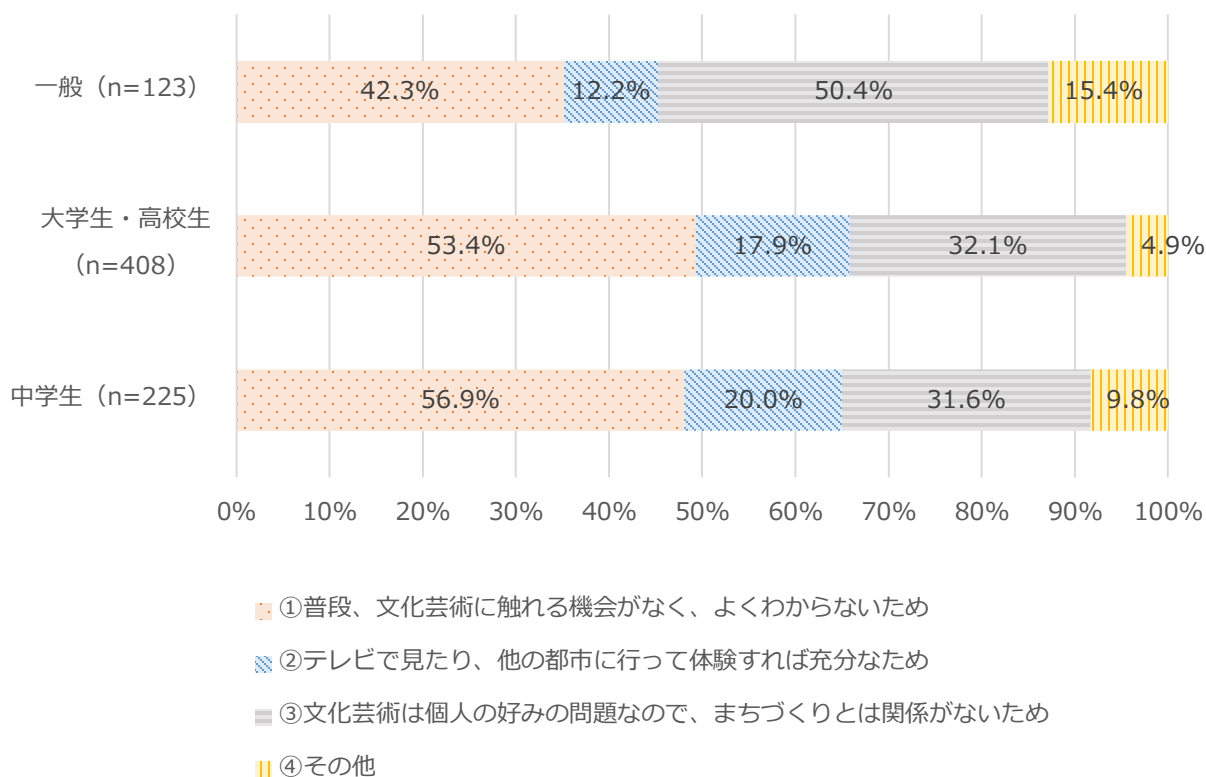
【問4】文化芸術に関する鑑賞や活動の機会が充実することは、暮らしたい街、住み続けたい街等魅力的な街をつくることにつながると感じますか。

全ての世代で、「思う」が最も高い数値となった。



【問5】問4で「思わない」又は「わからない」とお答えした方にお聞きします。
そのように考える理由は何でしょうか。

一般は、「③文化芸術は個人の好みの問題なので、まちづくりとは関係ないため」と回答した人が最も多く、一方で、大学生・高校生、中学生は「①普段、文化芸術に触れる機会がなく、よくわからないため」が最も多い結果となった。

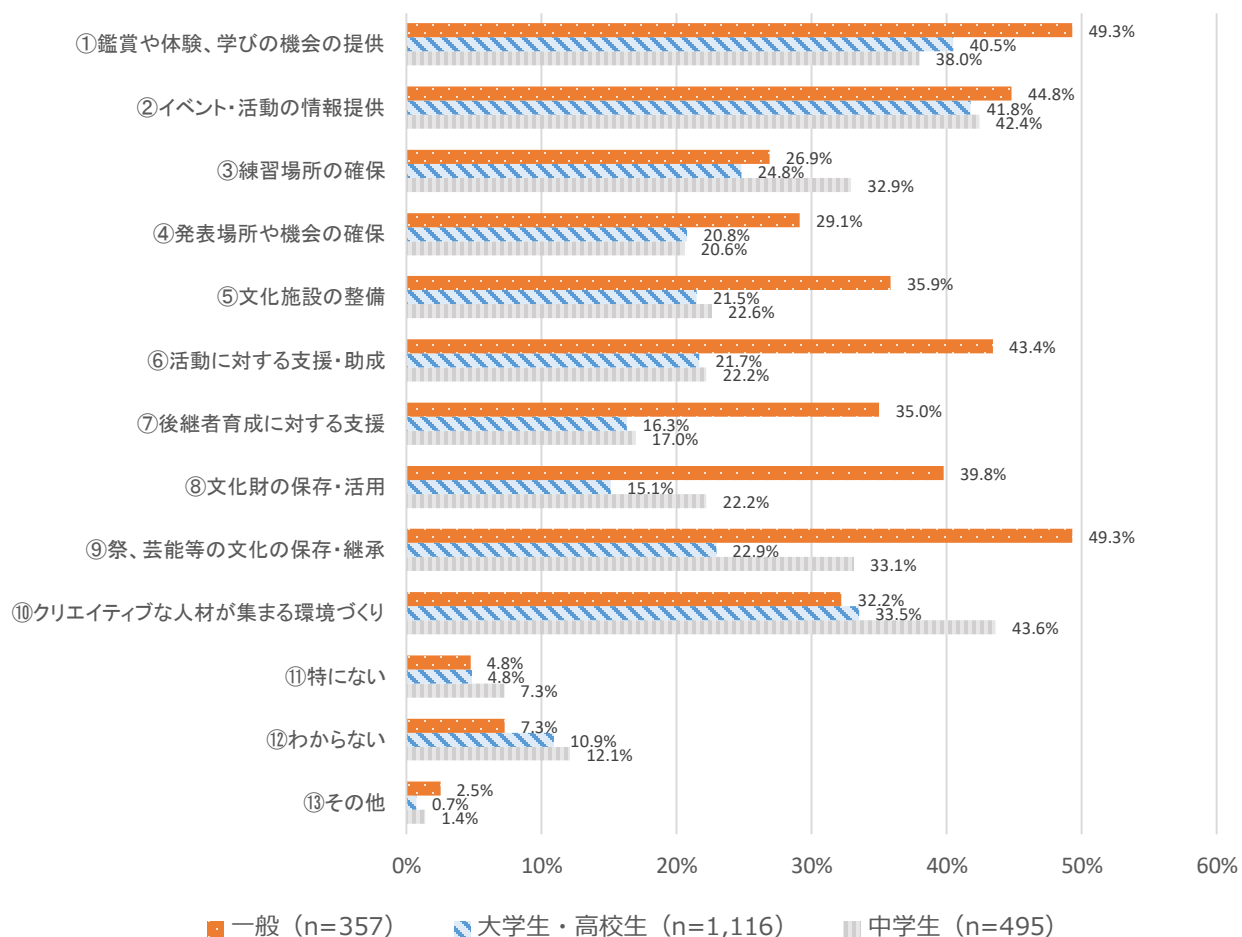


(2) 八戸市の文化芸術について

【問6】文化芸術に関して、行政（県や市等）が取り組む必要があると思う番号に○をつけてください。（複数選択可）

- ① 鑑賞や体験、学びの機会の提供 ② イベントや活動に関する情報提供
- ③ 練習等を行う場所の確保 ④ 発表できる場所や機会の確保
- ⑤ 文化施設の整備 ⑥ 活動に対する支援・助成
- ⑦ 後継者の育成に対する支援 ⑧ 文化財の保存・活用（有形・無形の文化財）
- ⑨ 祭、芸能、工芸など、八戸ならではの文化の保存・継承・活用
- ⑩ アーティストやデザイナーなど、クリエイティブな人材が集まる環境づくり
- ⑪ 特にない ⑫ わからない
- ⑬ その他

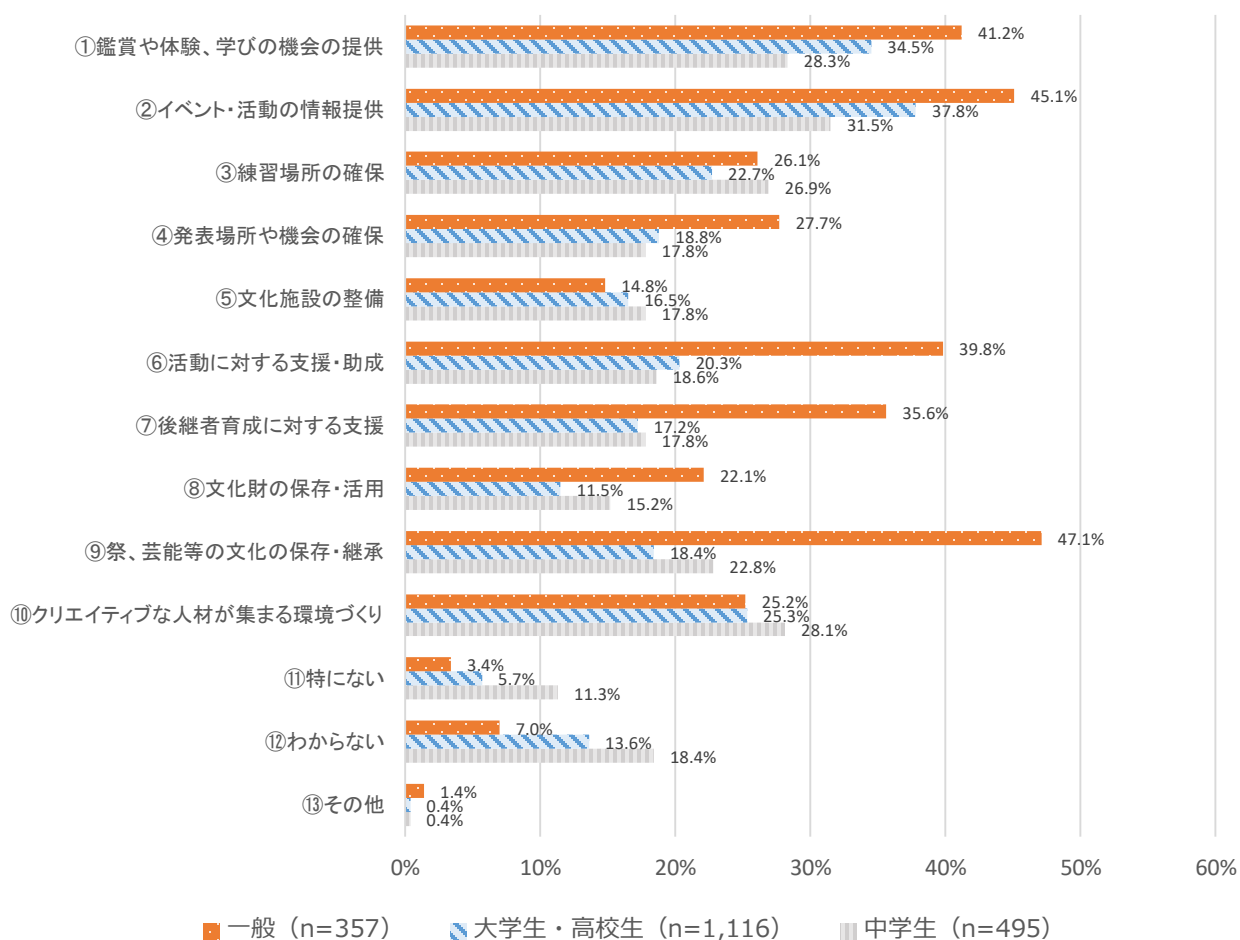
「②イベント・活動の情報提供」が全ての世代で40%を超える結果となった。大学生・高校生、中学生と比較して、「⑨祭、芸能等の文化の保存・継承」等は一般の数値が高い傾向であるが、「③練習場所の確保」「⑩クリエイティブな人材が集まる環境づくり」は中学生の数値が高い結果となった。



【問7】文化芸術に関して、民間（企業、市民団体等）が取り組む必要があると思う番号に○をつけてください。（複数選択可）

- ① 鑑賞や体験、学びの機会の提供 ② イベントや活動に関する情報提供
- ③ 練習等を行う場所の確保 ④ 発表できる場所や機会の確保
- ⑤ 文化施設の整備 ⑥ 活動に対する支援・助成
- ⑦ 後継者の育成に対する支援 ⑧ 文化財の保存・活用（有形・無形の文化財）
- ⑨ 祭、芸能、工芸など、八戸ならではの文化の保存・継承・活用
- ⑩ アーティストやデザイナーなど、クリエイティブな人材が集まる環境づくり
- ⑪ 特にない ⑫ わからない
- ⑬ その他

一般は、「⑨祭、芸能等の文化の保存・継承」「②イベント・活動の情報提供」「①鑑賞や体験、学びの機会の提供」の順で40%を超える結果となった。大学生・高校生、中学生では40%を超える項目はなかったが、「②イベント・活動の情報提供」「①鑑賞や体験、学びの機会の提供」「⑩クリエイティブな人材が集まる環境づくり」の順で高い結果となった。

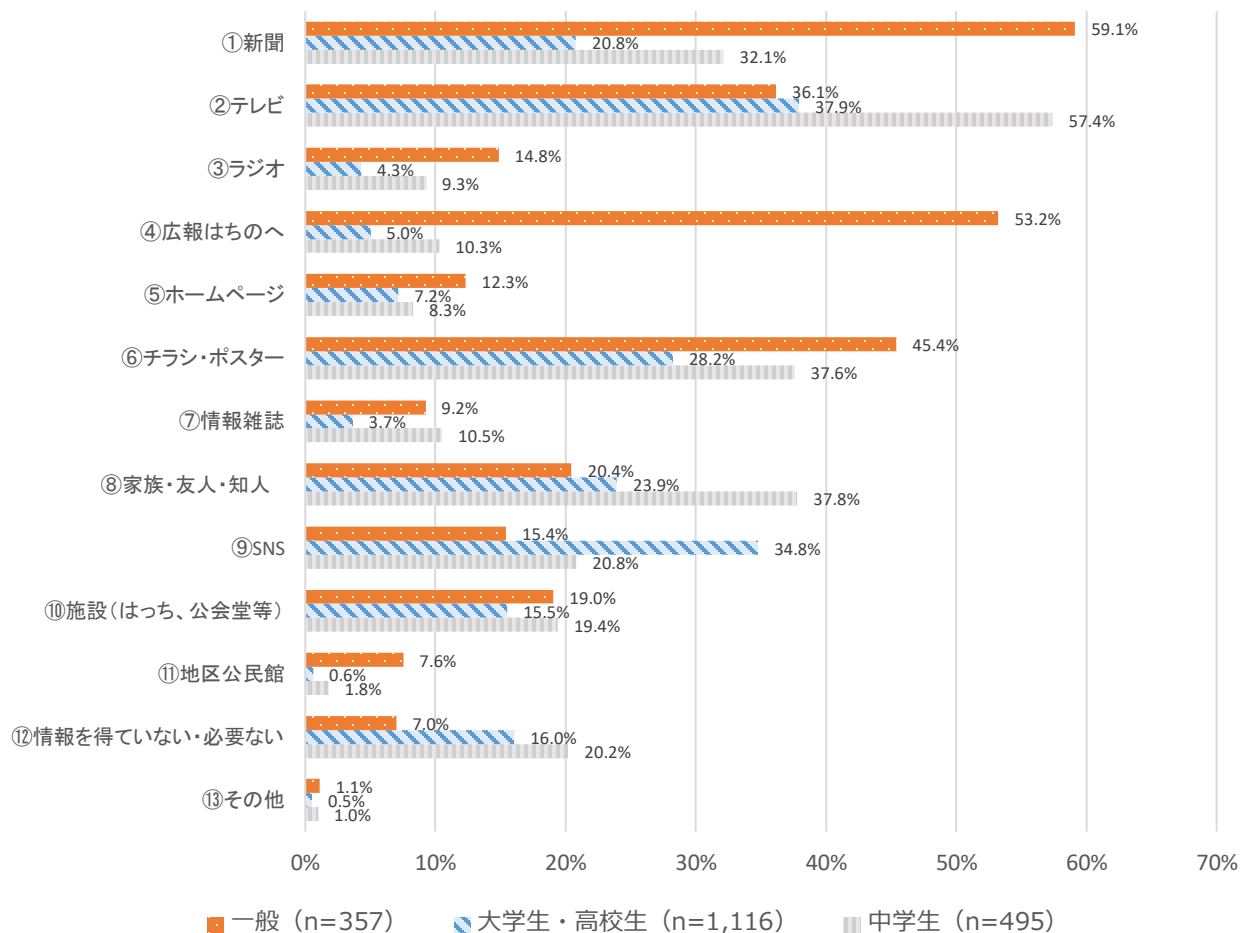


(3) 文化芸術に関する情報入手について

【問8】 普段、文化芸術に関するイベントや出来事に関する情報はどちらから入手していますか。あてはまる番号に○をつけてください。（複数選択可）

- ① 新聞 ② テレビ ③ ラジオ ④ 広報はちのへ ⑤ ホームページ
- ⑥ チラシ・ポスター ⑦ 情報雑誌 ⑧ 家族・友人・知人
- ⑨ SNS（フェイスブック、ツイッター等）
- ⑩ 施設（はっち、公会堂、博物館、縄文館、八食センター、ピアドゥ等）
- ⑪ 地区公民館 ⑫ 特に情報を得ていない・必要ない ⑬ その他

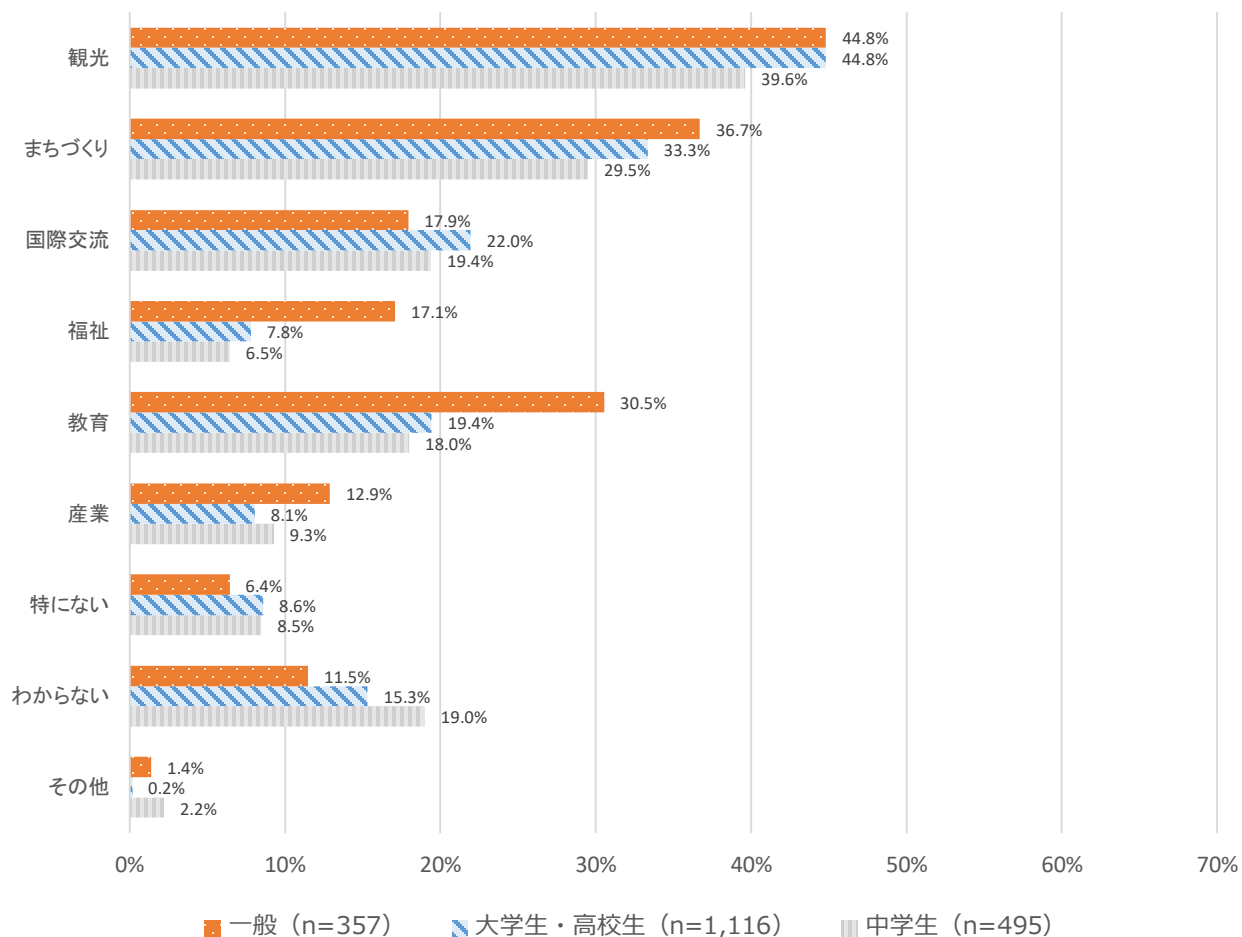
一般は、「①新聞」「②広報はちのへ」「③チラシ・ポスター」の順で高い数値を示した。一方、大学生・高校生は「②テレビ」「⑨SNS」、中学生は「②テレビ」「⑧家族・友人・知人」の順で高い結果となった。



(4) 文化芸術の持つ可能性を活かせる「分野」について

【問9】文化芸術が持つ可能性を活かせる、又は、活かしてほしいと思う「分野」はありますか。（複数選択可）

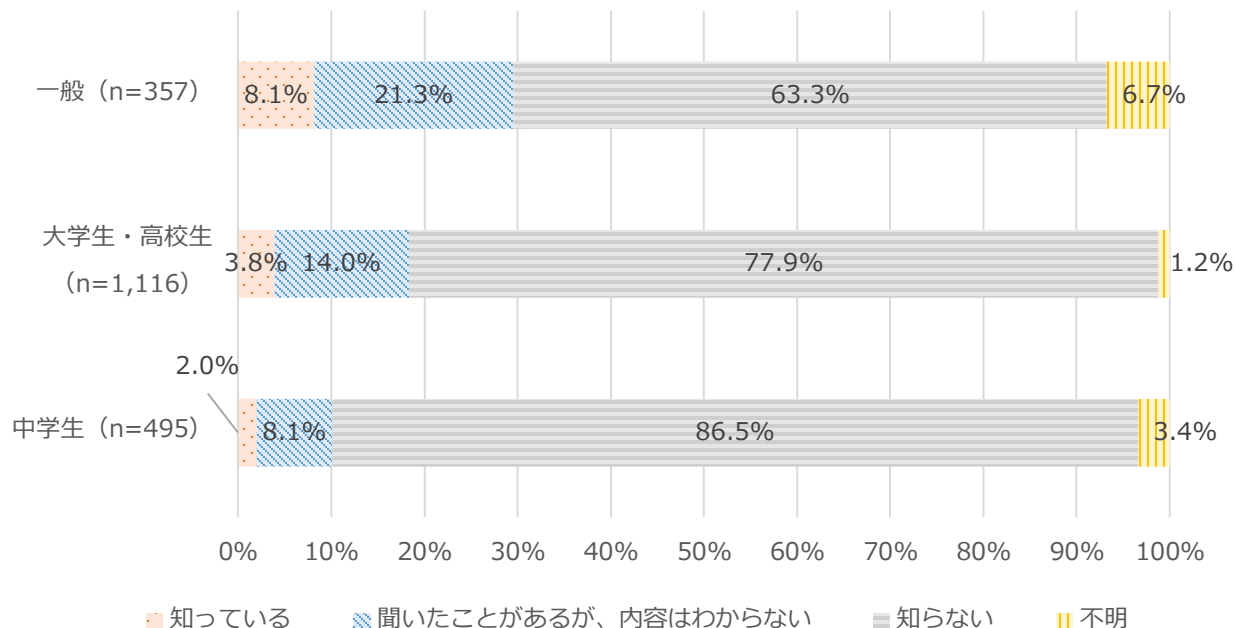
「観光」「まちづくり」の数値が高い結果となった。次いで、一般では「教育」で、大学生・高校生、中学生では「国際交流」という結果になった。



(5) 「多文化都市八戸」について

【問10】「多文化都市八戸」という言葉を知っていますか。

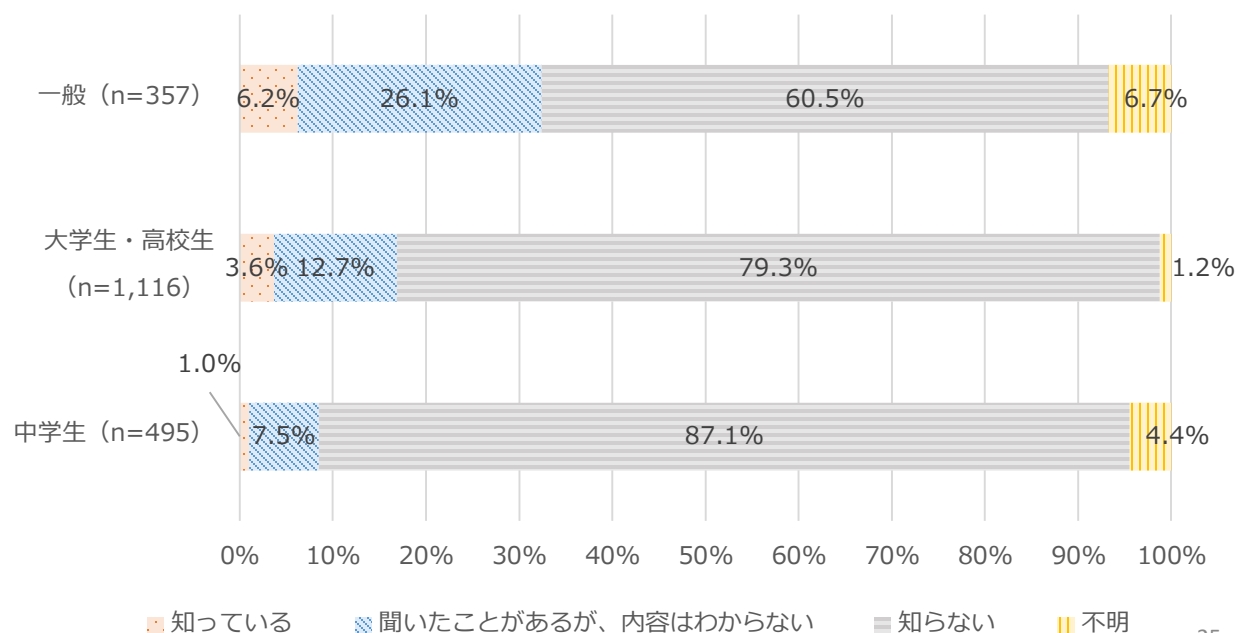
全ての世代で「知らない」と回答した人が多い結果となった。



(6) 「八戸市文化のまちづくりビジョン」について

【問11】「八戸市文化のまちづくりビジョン」を知っていますか。

全ての世代で、「知らない」と回答した人が多い結果となった。

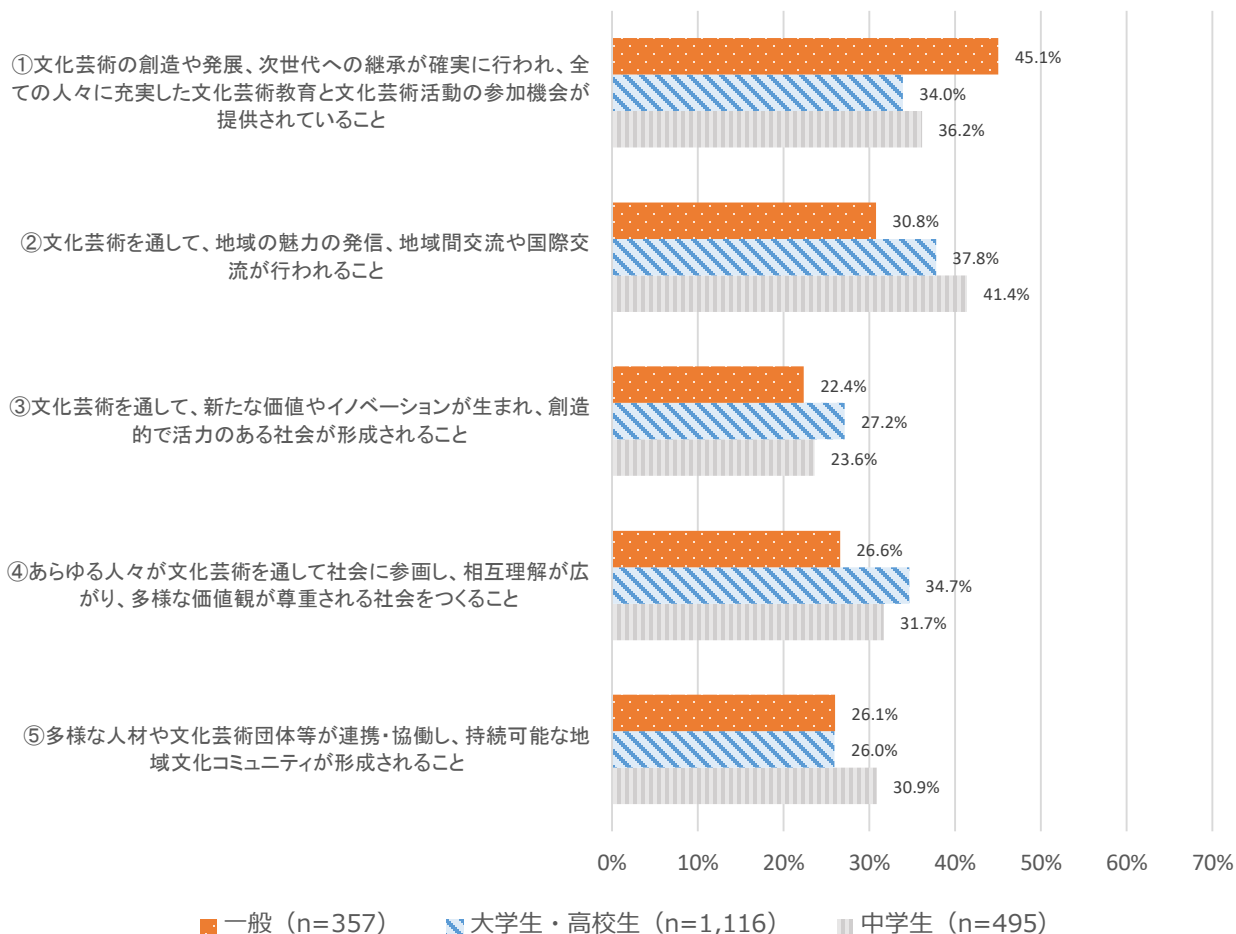


(7) 八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿について

【問12】 今後、八戸市の文化芸術政策の目指すべき姿（方向性）として、特に大切だと思ふものを「2つ」まで選択して番号に○をつけてください。

- ① 文化芸術の創造や発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていること
- ② 文化芸術を通して、地域の魅力の発信、地域間交流や国際交流が行われること
- ③ 文化芸術を通して、新たな価値やイノベーションが生まれ、創造的で活力のある社会が形成されること
- ④ あらゆる人々が文化芸術を通して社会に参画し、相互理解が広がり、多様な価値観が尊重される社会をつくること
- ⑤ 多様な人材や文化芸術団体等が連携・協働し、持続可能な地域文化コミュニティが形成されること

「①文化芸術の創造や発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていること」「②文化芸術を通して、地域の魅力の発信、地域間交流や国際交流が行われること」の数値が高くなったが、他の項目も20%～30%であり、大きな差は生じなかった。



【問13】文化芸術政策に関するご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

- ◎文化芸術活動でも多様化が進んでいると思う。様々な事柄に細かく支援して下さるようになればよいなど思っている。自分が菱刺を習っていることもあり、津軽の「ごぎん刺」の活発さ、地域での活用のされ方など、どうしてこうも違うのかな？と残念に思うことが多い。三社大祭の山車小屋のこともそうだが、行政が先頭にたってまとめていく必要があるのでは？と思っている。ねぶた、ねぶたとの活動の違いってなに？とも。地域や企業の協力ももっと必要で、また、未来を支えていく子供たちに様々な文化活動にもっと親しんでもらい、将来もすんなりと関わってくれる土台を作ってもらいたい。(50代・女性)
- ◎八戸市は昔、合唱が盛んで全国的にも八戸市の名を轟かせてきたが、衰退の一途で危機感がある。他の文化芸術と違い身体ひとつあればいつでもどこでもやれる、お金のかからない合唱を市民の皆さんが今一度見直してくれることを期待しつつ、目でも楽しい合唱の形を構築し、八戸市から発信できたらいいといつも思っている。(40代・女性)
- ◎八戸ならではの文化の保存、継承、活用は重要であり、文化芸術の活発化は次世代の人材育成にもつながると思う。公共施設を上手く利用し、気軽に参加しやすいイベントを希望。(50代・男性)
- ◎社会人、成人の文化芸術に参加できる機会を増やしたほうが良い。(10代・女性)
- ◎八戸市の美術館のイベントは過去、面白いものがたくさんあった。リニューアル後では、より幅広く多様で面白いものがあることを期待している。また、八戸市の発信能力が低いことを日々感じるので向上してほしい。(10代・男性)
- ◎三社大祭の笹踊りに出てくれる子供達が少なくなってきてしまっているの、お祭りの参加者を増やせるような活動をしてほしい。(10代・女性)
- ◎公会堂及び公民館で演劇、音楽の催しがある時に、幼児を待っている親にも鑑賞出来るように施設の充実(例：防音室などで分けけて幼児と共に鑑賞出来るスペース)があると良い。併せて、傷害のある方にも配慮した設備をお願いしたい。(70代以上・男性)
- ◎八戸市博物館はよく利用しているが、子どもたちがもっと体験できるイベントがあると良い。(40代・女性)
- ◎はっちではイベントがあるが、街までなかなか行かないため、近くの博物館でいろんなことをやってほしい。(40代・女性)
- ◎YSアリーナだけでなく、公会堂ももう少しライブやコンサートで人が来てくれる環境が整備されると良い。はっちのように気軽に子供たちが集まって足を運べるように。安価に借りられる音楽の練習ルームや会議室等が充実し、地域の人々が普段使いのように集まって文化交流できる空間が、中心街にもっとあってよいと思う。はっちの子供広場のようなところは子供の感性を育む場としてとても役立っている。(30代・女性)

※全325件中、一部要約して抜粋